

消 防 年 報

第 47 号



令 和 3 年

海部南部消防組合消防本部

は　じ　め　に

- 1　この年報は、令和2年中における海部南部消防組合（弥富市、飛島村）の消防状況を収録したものであり、管内の消防事象を紹介するとともに、今後の消防行政の資料に資することを目的として編集しました。
- 2　この年報は、火災、救急、救助等の統計については歴年をもって収録し、消防現勢等その他のものについては、原則として令和3年4月1日現在をもって収録しました。

目 次

組 合 の 概 要	頁
1. 位置及び地勢	1
2. 構成市村の概要	2
3. 組合のあゆみ	3
4. 消防組合組織図	1 1
5. 消防本部・消防署組織図	1 1
6. 組合三役	1 2
7. 令和2年度歳入歳出最終予算額 及び令和3年度歳入歳出当初予算額	1 4
8. 令和3年度構成市村消防財政状況	1 5
9. 消防本部事務分掌	1 6
10. 消防署事務分掌	1 9

消 防 現 勢

1. 消防庁舎概要	2 1
2. 現有消防力	2 2
3. 職員採用・退職状況	2 3
4. 職員配置状況	2 5
5. 職員階級別年齢状況	2 6
6. 職員教養実施状況	2 7
7. 職員住居地状況	2 8
8. 職員資格等保有状況	2 9
9. 通信系統図	3 0
10. 無線施設現有状況	3 1
11. 消防車両等現有状況	3 3
12. 機械器具現有状況	3 5
13. 応援協定等締結状況	3 8

予 防 事 務 統 計

1. 防火対象物状況	3 9
2. 用途別建築物同意数状況	4 0
3. 月別建築物同意数状況	4 1
4. 工事別建築物同意数状況	4 2

5. 危険物施設数状況	4 2
6. 危険物製造所等規制事務処理状況	4 3
7. 検査済証交付状況	4 3
8. 危険物関係手数料収入額	4 4
9. 危険物規制対象数状況	4 5
1 0. 危険物関係各種届出状況	4 6
1 1. 消防関係各種届出状況	4 7

火 災 統 計

1. 火災件数	4 8
2. 市村別火災状況	4 9
3. 月別出火原因状況	5 0
4. 過去5年間の出火原因ワースト5の推移	5 1
5. 警戒出動状況	5 1
6. 過去10年間の火災の推移	5 2

救 急 ・ 救 助 統 計

1. 救急出動件数	5 3
2. 月別及び市村別救急出動件数	5 4
3. 月別及び市村別搬送人員状況	5 5
4. 年齢区分・性別救急搬送状況	5 6
5. 事故種別救急出動状況	5 6
6. 時間別救急出動状況	5 7
7. 曜日別救急出動状況	5 7
8. 救急隊員が行った応急処置等の状況	5 8
9. 過去10年間の救急出動状況	5 9
1 0. 過去10年間の救助活動状況	5 9
1 1. 救助活動状況	6 0
1 2. 緊急消防援助隊出動状況	6 0
1 3. 救命講習実施状況	6 1

気 象 統 計

1. 月別天候状況	6 2
2. 月別湿度状況	6 2
3. 月別気温状況	6 3
4. 月別雨量状況	6 4

5. 月別最大風速状況	65
6. 地震発生状況	65

消 防 団・消 防 水 利

1. 消防団組織	66
2. 消防団現勢	68
3. 消防水利	69

消 防 一 般

1. 少年消防クラブ	70
2. 消防組合年間行事	71
3. 訓練指導状況	71

組合の概要

1. 位置及び地勢

当組合は、愛知県の西部に位置し、東経136°46′27″、北緯35°4′51″で、東は名古屋市及び蟹江町、西は木曾川並びに三重県、北は愛西市に接し、南は伊勢湾に面し、昭和48年4月1日に発足した1市（弥富市）1村（飛島村）からなる一部事務組合です。

地勢は、木曾川によって造成された沖積層からなり、海拔0メートル地帯で、東西6.4km、南北15.2km、総面積71.53km²の南北に細長い地形を有している地域です。

昭和34年9月26日、伊勢湾台風による未曾有の大洪水のため多大な人的、物的被害を受けた地域でもあります。

道路、鉄道共に逐次整備され、主要幹線道路として国道1号線及び東名阪自動車道が北部を、国道23号線が南部を横断し、国道155号線が西部を、国道302号線が東部を縦断しています。また、臨海部には「名港トリトン」の愛称で親しまれている伊勢湾岸自動車道が、名古屋から延び東名阪自動車道と接続されたことにより、交通の要衝である地域です。鉄道は、管内北部にJR関西本線、名鉄尾西線及び近鉄名古屋線の弥富駅があり、相互に乗換えが容易で、名古屋駅まで約15分と交通の便が良い地域です。

名古屋市に隣接していることもあり、管内北部は鉄道網に関して高層住宅や住宅団地等の住宅地、中部は田園地帯、南部は港湾の関係でコンテナ埠頭の一大物流基地が増設され、名古屋港の貿易の拠点となっております。さらには航空宇宙産業、木材、鉄鋼、造船等に関連した工業地帯が形成されています。

以上、管内は多種多様な地域が混在しています。



2. 構成市村の概要

令和3年4月1日現在

項目区分 市村名	人口		世帯数		面積	
	数値	構成比	数値	構成比	数値	構成比
弥富市	人 44,221	% 90.2	戸 18,373	% 91.1	k m ² 49.11	% 68.7
飛島村	4,794	9.8	1,792	8.9	22.42	31.3
合計	49,015	100.0	20,165	100.0	71.53	100.0

注) 人口は、住民基本台帳に基づく人口の合計

注) 面積は、国土交通省国土地理院調べ



3. 組合のあゆみ

昭和48年	4月	1日	十四山村、飛島村、弥富町の1町2村で海部南部消防組合を設立 消防本部を設置、救急業務のみを開始 初代管理者 大木利之 就任(消防長兼任) 仮事務所を弥富町役場内に置く 指揮車(無線付) 1台(弥富ライオンズクラブから寄贈) 救急車(無線付) 1台 III-B型
昭和48年	4月	12日	消防署庁舎用地取得 10,396㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地
昭和48年	9月	1日	消防署を設置 消防業務を開始 初代消防署長 伊藤一男 就任 普通消防ポンプ自動車(無線付) 1台配備 小型動力ポンプ 1台配備
昭和48年	11月	1日	水槽付消防ポンプ自動車(無線付) 1台配備
昭和48年	12月	17日	消防庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 1,502㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地 救急指令装置B型設置
昭和48年	12月	20日	新庁舎へ移転し業務開始 弥富町役場の仮事務所閉鎖
昭和49年	2月	23日	消防庁舎竣工式
昭和49年	3月	1日	救急車(無線付) 1台配備 III-B型 連絡車(無線付) 1台配備
昭和49年	4月	1日	海部南部危険物安全協会結成
昭和49年	10月	24日	広報車(無線付) 1台(宇佐美鋳油店から寄贈)
昭和50年	4月	1日	海部南部消防連絡協議会結成 二代目管理者 立松義勝 就任(消防長兼任)
昭和50年	4月	22日	普通消防ポンプ自動車 1台(日本損害保険協会から寄贈)
昭和51年	3月	12日	各町村消防団本部車両(消防ポンプ自動車)無線機配備
昭和51年	7月	14日	飛島村東浜三丁目2~5番地の区域が石油コンビナート等特別 防災区域に指定(名古屋港臨海地区)
昭和52年	4月	1日	三代目管理者 佐藤 博 就任(消防長兼任)
昭和52年	4月	12日	消防本部庁舎3階に機械器具展示室設置腕用ポンプ、手引き動力 ポンプ、消火器等(管内地区、防災関係業者から寄贈)
昭和52年	9月	17日	船外機付舟艇 1艇配備 連絡車 更新
昭和54年	2月	7日	バスケット付大型高所放水車(無線付) 1台配備
昭和54年	4月	1日	消防力充実のため総合計画を樹立 四代目管理者 大木利之 就任(消防長兼任)
昭和54年	4月	28日	五代目管理者 加藤鋭男 就任(消防長兼任)

昭和55年 2月 8日 大型化学車（無線付） 1台配備

昭和55年 9月 8日 大型車両配備に伴い車庫及び倉庫を増設
鉄骨造2階建 262m²

昭和55年12月19日 泡原液搬送車（無線付） 1台配備

昭和56年 2月24日 北分署庁舎用地取得 5,055m²
海部郡弥富町大字鎌倉123番地

昭和56年 4月 1日 六代目管理者 大橋オ一 就任（消防長兼任）

昭和56年12月15日 北分署庁舎竣工
鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 753m²
北分署業務開始
普通消防ポンプ自動車、救急車、広報車、 各1台配備
分署長以下15名の職員

昭和57年 5月31日 広報車（無線付） 1台 本署に配備

昭和57年11月13日 水槽付消防ポンプ自動車（無線付）
本署 1台更新 分署 1台配備

昭和58年 1月18日 救急車（無線付） 1台 II-B型 北分署に配備
（日本自動車工業会から寄贈）

昭和58年 4月 1日 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
七代目管理者 佐藤 博 就任（消防長兼任）
北分署4名増員

昭和58年 6月23日 本署 指令車（無線付） 1台更新

昭和58年 6月25日 本署庁舎改修工事を施行

昭和58年 9月 1日 訓練人形（レサシアン） 1体（弥富ライオンズクラブから寄贈）

昭和58年12月20日 本署 車庫増築 鉄骨造 51m²

昭和59年 3月30日 本署 救急車（無線付）1台更新 III-B型

昭和59年 4月 1日 北分署4名増員

昭和59年 6月 8日 査察車（無線付） 1台本署に配備
（海部南部危険物安全協会から寄贈）

昭和59年 8月15日 船外機付舟艇 1艇北分署に配備

昭和59年10月24日 北分署 広報車（無線付） 1台本署に配備

昭和60年 1月 1日 八代目消防長（常勤専任） 伊藤一男 就任（消防署長兼任）

昭和60年 4月 1日 九代目消防長 都築 勇 就任
二代目消防署長 加藤敏男 就任

昭和60年10月22日 本署 普通消防ポンプ自動車（無線付） 1台更新
（日本損害保険協会から寄贈）

昭和60年11月 1日 土地改良事業により本換地完了につき住所更正
海部郡飛島村大宝五丁目182番地

昭和61年 4月 1日 消防計画10ヶ年計画樹立
上記計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立

昭和61年11月 1日 仮称南部出張所業務開始
海部郡飛島村木場二丁目3番地

昭和62年	2月26日	救助工作車（無線付）	1台本署に配備
昭和63年	4月1日	南出張所業務開始	
		救急車（無線付）	1台 II-B型 南出張所に配備
昭和63年	6月2日	北分署 出動灯設置	(弥富ライオンズクラブから寄贈)
昭和63年	8月19日	第17回全国消防救助技術大会	(横浜市)
		はしご登はん	小椋正巳 出場
昭和63年	8月30日	本署 出動灯・投光器設置	
昭和63年	9月22日	高所放水車	オーバーホール
昭和63年	12月15日	本署 連絡車（無線付）	更新
平成元年	4月1日	三代目消防署長	青木善盛 就任
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成元年	9月27日	資機材搬送車（無線付）	1台本署に配備
平成2年	3月20日	北分署 普通消防ポンプ自動車（無線付）	1台更新
平成2年	8月24日	第19回全国消防救助技術大会	(広島市)
		はしご登はん	八木雄司 出場
平成3年	1月21日	船外機付舟艇	1艇本署に配備
平成3年	1月31日	消防庁舎増改築	
		鉄骨造3階建	床面積84㎡
平成4年	2月19日	消防緊急通信指令施設II型	(旧指令装置B型)を更新
平成4年	3月4日	本署 水槽付消防ポンプ自動車（無線付）	1台配備
平成4年	3月19日	緊急通報システム	(高齢者在宅福祉事業)センターを設置
平成4年	4月1日	海部南部消防組合規約改正に伴い副管理者制を導入	
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成5年	1月1日	完全週休二日制を実施	
平成5年	1月6日	本署 指揮車（無線付）	1台配備
平成5年	1月8日	海部南部消防組合発足20周年記念式典を実施	
		海部南部消防組合発足20周年記念誌を発行	
平成5年	1月28日	県道の拡幅により土地売却	(売却面積790㎡)
平成5年	2月9日	北分署 広報塔を設置	(弥富ライオンズクラブから寄贈)
平成5年	8月20日	第21回全国消防救助技術大会	(福岡市)
		はしご登はん	八木雄司、立松健一 出場
平成6年	3月10日	北分署 救急車（無線付）	更新 II-B型
平成6年	3月18日	本署 訓練場を拡張	4,129㎡
		交替制勤務者の三部制を実施	
平成6年	5月24日	査察車（無線付）	1台本署に配備
		(海部南部危険物安全協会から寄贈)	
平成6年	11月18日	救急救命士誕生	
平成7年	1月17日	阪神・淡路大震災	
		消火隊(2隊)	6名派遣
平成7年	2月28日	高規格救急車（無線付）	1台本署に配備
平成7年	3月30日	本署 査察車（無線付）	更新

平成 7年 4月 1日 四代目消防署長 山田幸雄 就任
愛知県海部事務所へ実務研修生として1名派遣
(平成8年3月31日まで)

平成 7年12月20日 高所放水車2回目のオーバーホール

平成 8年 2月29日 北分署 広報車(無線付) 更新

平成 8年 3月15日 南出張所庁舎増改築
鉄骨造2階建 延床面積 224㎡

平成 8年 4月 1日 南出張所業務開始
水槽付消防ポンプ自動車、救急車、査察車、各1台配備
出張所長以下10名の職員
総合計画に基づく消防力整備計画
(平成8年度から平成17年度まで)を樹立

平成 8年 4月 1日 愛知県消防学校へ教官として1名派遣(平成10年3月31日まで)

平成 8年11月26日 小型動力ポンプ 1台本署に配備

平成 8年12月16日 小型動力ポンプ 北分署及び南出張所に1台配備

平成 9年 2月 6日 小型動力ポンプ付水槽車(無線付) 1台本署に配備
泡原液搬送車 本署から北分署へ配置替

平成 9年 4月 1日 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
愛知県消防協会へ実務研修生として職員1名派遣
(平成11年3月31日まで)

平成 9年 8月22日 第26回全国消防救助技術大会(千葉市)
ロープブリッジ渡過 細木健治 出場

平成10年 1月 9日 北分署庁舎改修工事

平成10年 1月16日 高規格救急車(無線付) 1台分署に配備

平成10年 3月 8日 資機材搬送車 1台本署に配備(弥富ライオンズクラブから寄贈)

平成10年 4月 1日 職員相互人事交流を開始(海部東部消防組合)

平成10年 8月28日 第27回全国消防救助技術大会(大阪市)2種目出場
ロープブリッジ渡過 細木健治
ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩

平成10年 9月28日 本署 連絡車 更新

平成10年11月25日 本署 梯子等収納庫増設

平成10年12月18日 消防緊急通信指令施設をオーバーホール

平成11年 2月22日 本署 水槽付消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成11年 3月 4日 南出張所 査察車(無線付) 更新(十四山村から寄贈)

平成11年 4月 1日 五代目消防署長 平野 豊 就任
職員相互人事交流を実施(海部東部消防組合、蟹江町)

平成11年 8月19日 第28回全国消防救助技術大会(横浜市)
ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩

平成12年 2月10日 北分署 水槽付消防ポンプ自動車(無線付) 更新
(社)日本損害保険協会より寄贈)

平成12年 2月29日 本署 消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成12年 4月 1日 十代目消防長 平野 豊 就任
 六代目消防署長 佐藤 武 就任
 愛知県消防防災課へ実務研修生として職員1名派遣
 (平成13年3月31日まで)
 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立

平成12年12月19日 資機材搬送車(無線付) 更新

平成13年 4月 1日 十一代目消防長 佐藤 武 就任
 七代目消防署長 加藤寛一 就任
 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 当直課長制を実施

平成13年 8月 8日 第30回全国消防救助技術大会(東京)
 はしご登はん 佐藤弘光 出場

平成13年12月19日 本署 高所放水車(無線付) 更新

平成14年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 愛知県消防防災ヘリコプターへ職員1名派遣(2年間)

平成14年 8月23日 第31回全国消防救助技術大会 名古屋市(2種目出場)
 はしご登はん 佐藤弘光
 ロープブリッジ渡過 飯田祐治

平成14年 9月 1日 名古屋市消防局へ職員1名派遣(平成16年3月まで)

平成14年12月25日 本署 大型化学車(無線付) 更新

平成15年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合)
 北分署3名増員
 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立

平成15年 8月28日 第32回全国消防救助技術大会 仙台市(2種目出場)
 ロープブリッジ救出 早川昌範、馬場貴浩、内山誠司、志水泰則
 ロープブリッジ渡過 飯田祐治

平成16年 1月22日 北分署 消防ポンプ自動車(無線付) 更新

平成16年 2月23日 南出張所 高規格救急車(無線付) 更新

平成16年 3月15日 本署庁舎耐震改修等工事完了

平成16年 3月15日 本署訓練塔建設工事完了

平成16年 4月 1日 職員相互人事交流を実施(蟹江町、海部東部消防組合、海部西部広域事務組合)

平成16年 4月 1日 十二代目消防長 佐藤英之 就任
 八代目消防署長 加藤万典 就任
 潜水隊 運用開始

平成16年 6月 1日 連絡2号車 1台本署に配備
 (海部南部危険物安全協会から寄贈)

平成16年 7月18日 福井豪雨
 緊急消防援助隊愛知県隊(救助隊)5名派遣

平成16年12月25日 本署車庫等屋上防水工事

平成17年 1月21日 本署 泡原液搬送車（無線付）更新
 平成17年 2月 8日 本署 救助工作車（無線付）更新
 平成17年 3月 1日 2005年日本国際博覧会における消防広域応援 職員1名派遣
 （平成17年9月30日まで）
 平成17年10月19日 本署 泡原液タンク据付工事完了
 平成17年 8月25日 第34回全国消防救助技術大会（さいたま市）に出場
 障害突破 鈴木範夫、木全貞能、鈴木基寛、関山浩、佐藤洋平
 平成17年10月 5日 北分署 広報車（無線付）更新
 平成17年10月14日 本署 指揮車（無線付）更新
 平成18年 3月17日 本署 通信指令台改修工事完了
 平成18年 4月 1日 弥富町と十四山村とが合併し、弥富市となる。
 十三代目消防長 加藤万典 就任
 九代目消防署長 三浦恒男 就任
 総合計画に基づく消防力整備計画
 （平成18年度から平成27年度まで）を樹立
 平成18年12月22日 高度救助用資機材 本署に整備
 平成19年 3月26日 本署 高規格救急車（無線付）更新
 平成19年 4月 1日 十四代目消防長 前田盛夫 就任
 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として職員1名派遣
 （平成20年3月31日まで）
 平成19年 6月27日 緊急通報システム（高齢者在宅福祉事業）センター設備更新
 平成19年11月 6日 南出張所 消防ポンプ自動車（無線付）更新
 平成20年 1月25日 北分署 高規格救急車（無線付）更新
 平成20年 7月15日 高所放水車のオーバーホール
 平成20年 8月 1日 IP・携帯発信位置情報通知システム 導入
 平成20年12月25日 本署 査察車（無線付）更新
 平成22年 4月 1日 十五代目消防長 伊藤種雄 就任
 十代目消防署長 山口 実 就任
 愛知県消防学校へ教官として1名派遣（平成24年3月31日まで）
 平成22年 5月17日 ドクターカー運用開始（海南病院）
 平成22年 8月 9日 第39回全国消防救助技術大会（京都府）に出場
 ロープブリッジ救出 鈴木大輔、山田哲也、水野泰宏、白神英伸
 平成22年11月11日 海部南部消防組合消防署北分署仮眠室個室化及び変電設備設置等工
 事完了
 平成23年 2月14日 海部地方消防指令センターの設置及び運用に関する覚書の締結
 平成23年 3月11日 東日本大震災
 緊急消防援助隊愛知県隊（消火隊）37名派遣
 平成23年 4月 1日 十六代目消防長 中山憲治 就任
 十一代目消防署長 大隅一弘 就任
 平成23年 7月29日 北分署 水難救助用ゴムボート 配備
 平成23年11月11日 本署 連絡車 更新

平成24年	3月21日	本署 査察1号車 (無線付) 更新
平成24年	3月27日	南出張所 高規格救急車 (無線付) 更新
平成24年	8月7日	第41回全国消防救助技術大会 (東京都) に出場 障害突破 横井裕樹、水谷真康、中山良太、幅 翔平、飯田大輔
平成25年	2月4日	海部地方消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書の締結
平成25年	3月28日	海部地方消防指令センター開所式 (弥富市十四山スポーツセンター)
平成25年	4月1日	海部地方消防通信指令事務協議会設置 海部地方消防指令センター運用開始 (弥富市役所十四山支所2階) 海部地方消防通信指令事務協議会へ職員5名派遣 愛知県消防防災ヘリコプターへ職員1名派遣 (3年間)
平成26年	2月1日	本署、北分署 水槽付消防ポンプ自動車 (無線付) 更新
平成26年	3月4日	南出張所 水難救助用舟艇 配備
平成26年	3月28日	本署 救助訓練用施設の組立及び据付工事完了
平成26年	4月25日	高所放水車のオーバーホール
平成26年	4月28日	本署 津波・大規模風水害対策車 配備 (総務省消防庁無償貸与)
平成26年	6月2日	本署 連絡3号車 配備 (海部南部危険物安全協会から寄贈)
平成26年	7月23日	南出張所 資機材搬送車 配備 (有限会社佐藤石油店から寄贈)
平成26年	9月27日	御嶽山噴火災害 緊急消防援助隊愛知県隊 (救助隊) 10名派遣
平成27年	2月12日	本署 高規格救急車 (無線付) 更新
平成27年	4月1日	十七代目消防長 伊藤亨 就任 十二代目消防署長 小椋正巳 就任 消防救急デジタル無線運用開始 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として1名派遣 (平成28年3月31日まで)
平成27年	7月1日	救急救命士 処置範囲拡大開始
平成27年	8月18日	北分署 電動油圧救助器具 配備
平成27年	9月9日	北分署非常用発電設備取替及び車庫屋上等防水改修工事
平成27年	11月18日	北分署庁舎周りアスファルト舗装改修工事
平成27年	12月24日	署活動波携帯無線機運用開始
平成28年	12月5日	本署 水槽付消防ポンプ自動車 配備 (旧 飛島村消防団車両)
平成29年	2月28日	公共施設等総合管理計画 策定
平成29年	2月21日	北分署 高規格救急車 更新
平成29年	5月10日	無人航空機 (ドローン) 配備
平成29年	6月13日	本署 連絡4号車 配備
平成29年	7月12日	南出張所耐震等改修工事
平成29年	12月4日	本署 水難救助用ウレタンボート 配備

平成30年 4月 1日 名古屋市救急救命研修所へ実務研修生として1名派遣
(平成31年3月31日まで)
総合計画に基づく消防力整備計画
(平成30度から平成39年度まで)を樹立

平成30年 5月 1日 北分署下水排水設備改修工事

平成30年 7月 2日 消防指令システム部分更新

平成30年 7月 6日 平成30年7月豪雨
緊急消防援助隊愛知県隊(救助隊)10名派遣

平成30年10月17日 現場映像中継システム 運用開始

平成31年 4月 1日 十八代目消防長 都築浩朗 就任
感染症患者等の移送に関する協定 締結
(愛知県津島保健所)

平成31年 4月 1日 愛知県消防学校へ教官として1名派遣(令和3年3月31日まで)

令和 元年 8月25日 第48回全国消防救助技術大会(岡山県)に出場
ロープブリッジ救出 桑原大地、日高慎也、上田和紀、佐藤海帆

令和 元年12月23日 浸水時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定 締結
(名港海運株式会社)

令和 元年12月26日 南出張所 高規格救急車 更新

令和 2年 3月24日 指揮車 更新

令和 2年 4月 1日 十三代目消防署長 伊藤 禎 就任

令和 2年 4月 1日 高所放水車 オーバーホール

令和 2年 4月17日 消防活動における重機等による支援に関する協定 締結
(海南土建株式会社、株式会社佐藤工務店、株式会社中島水道、
大栄建設株式会社、有限会社黒宮造園)

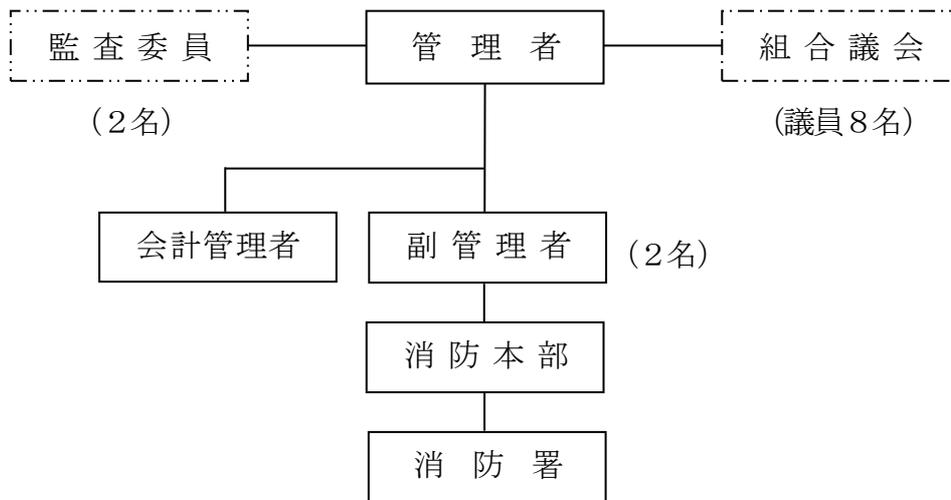
令和 2年12月 1日 Net119 緊急通報システム 運用開始

令和 3年 2月26日 救助工作車 更新

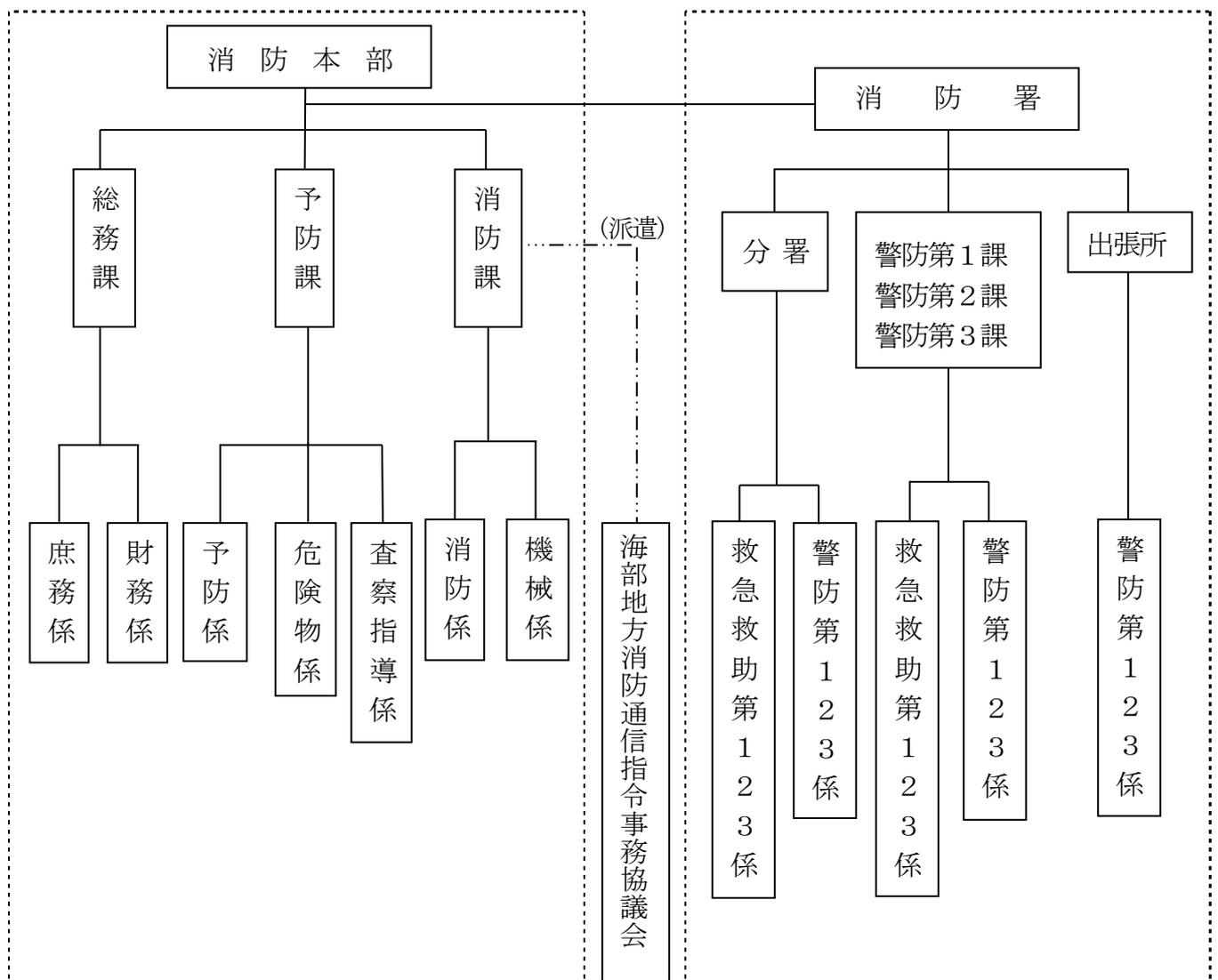
令和 3年 2月28日 消防救急デジタル無線システム部分更新

令和 3年 4月 1日 十四代目消防署長 山森基示 就任

4. 消防組合組織図



5. 消防本部・消防署組織図



歴代会計管理者

歴代収入役

H19. 4. 1~H21. 3. 31	渡辺良和	飛島村会計管理者	S48. 4. 1~S49. 12. 31	佐野峰夫	十四山村収入役
H21. 4. 1~H23. 3. 31	村上勝美	弥富市会計管理者	S50. 1. 6~S50. 3. 31	伊藤康明	十四山村収入役
H23. 4. 1~H25. 3. 31	渡辺良和	飛島村会計管理者	S50. 4. 2~S52. 4. 1	佐藤敏計	飛島村収入役
H25. 4. 1~H26. 3. 31	渡辺安彦	弥富市会計管理者	S52. 4. 5~S54. 4. 1	服部義治	弥富町収入役
H26. 4. 1~H27. 3. 31	服部誠	弥富市会計管理者	S54. 4. 2~S56. 4. 1	伊藤康明	十四山村収入役
H27. 4. 1~H29. 3. 31	貝沼朗史	飛島村会計管理者	S56. 4. 3~S58. 4. 2	佐藤敏計	飛島村収入役
H29. 4. 1~H30. 3. 31	山守修	弥富市会計管理者	S58. 4. 4~S60. 4. 3	安藤義男	弥富町収入役
H30. 4. 1~H31. 3. 31	山田淳	弥富市会計管理者	S60. 4. 4~S62. 4. 3	伊藤康明	十四山村収入役
H31. 4. 1~R 2. 3. 31	中島利文	飛島村会計管理者	S62. 4. 4~S62. 6. 30	佐藤敏計	飛島村収入役
R 2. 4. 1~R 3. 3. 31	中野晃	飛島村会計管理者	S62. 7. 1~H 1. 4. 3	阿部剛	飛島村収入役
R 3. 4. 1~	伊藤えい子	弥富市会計管理者	H 1. 4. 4~H 2. 3. 13	安藤義男	弥富町収入役
			H 2. 4. 2~H 3. 4. 3	黒田幸雄	弥富町収入役
			H 3. 4. 2~H 5. 3. 31	伊藤康明	十四山村収入役
			H 5. 4. 1~H 5. 6. 1	阿部剛	飛島村収入役
			H 5. 7. 1~H 7. 3. 31	尾串孝	飛島村収入役
			H 7. 4. 1~H 9. 3. 31	伊藤征治	弥富町収入役
			H 9. 4. 1~H11. 3. 31	舘泰督	十四山村収入役
			H11. 4. 1~H13. 3. 31	尾串孝	飛島村収入役
			H13. 4. 1~H15. 3. 31	伊藤征治	弥富町収入役
			H15. 4. 1~H15. 6. 30	渡辺能孝	十四山村収入役
			H15. 7. 1~H17. 3. 31	内海豊	十四山村収入役
			H17. 4. 1~H17. 6. 30	立松定昭	飛島村収入役

- ※平成 4年4月1日 助役を副管理者に改正
- ※平成18年1月1日 収入役を廃し、副管理者が収入役事務を兼掌する。
- ※平成18年4月1日 弥富町と十四山村とが合併し、弥富市となる。

7. 令和2年度歳入歳出最終予算額及び令和3年度歳入歳出当初予算額

(1) 一般会計

○ 歳入

(単位:千円)

款	項	令和2年度	令和3年度
1 分担金及び負担金		941,000	940,000
	1 負担金	941,000	940,000
2 使用料及び手数料		22,504	22,590
	1 手数料	22,504	22,590
3 国庫支出金		41,142	2
	1 国庫負担金	1	1
	2 国庫補助金	41,141	1
4 県支出金		1	1
	1 県補助金	1	1
5 財産収入		106	31
	1 財産運用収入	105	30
	2 財産売却収入	1	1
6 寄附金		1	1
	1 寄附金	1	1
7 繰入金		64,737	30,413
	1 特別会計繰入金	413	413
	2 基金繰入金	64,324	30,000
8 繰越金		69,464	35,000
	1 繰越金	69,464	35,000
9 諸収入		17,341	8,941
	1 預金利子	10	10
	2 雑収入	17,331	8,931
歳入合計		1,156,296	1,036,979

○ 歳出

(単位:千円)

款	項	令和2年度	令和3年度
1 議会費		457	459
	1 議会費	457	459
2 総務費		88,741	124,998
	1 総務管理費	88,741	124,998
3 消防費		1,065,061	909,007
	1 消防費	988,583	836,543
	2 予防費	76,478	72,464
4 予備費		2,037	2,515
	1 予備費	2,037	2,515
歳出合計		1,156,296	1,036,979

(2) 消防指令センター特別会計

○ 歳入

(単位:千円)

款	項	令和2年度	令和3年度
1 分担金及び負担金		97,438	73,482
	1 負担金	97,438	73,482
2 国庫支出金		1	1
	1 国庫補助金	1	1
3 繰入金		21,468	16,383
	1 一般会計繰入金	21,468	16,383
4 繰越金		1	1
	1 繰越金	1	1
5 諸収入		2	2
	1 預金利子	1	1
	2 雑収入	1	1
歳入合計		118,910	89,869

○ 歳出

(単位:千円)

款	項	令和2年度	令和3年度
1 消防指令センター費		113,894	84,854
	1 消防指令センター費	113,894	84,854
2 諸支出金		16	15
	1 一般会計繰出金	2	2
	2 償還金	14	13
3 予備費		5,000	5,000
	1 予備費	5,000	5,000
歳出合計		118,910	89,869

8. 令和3年度構成市村消防財政状況

(単位:千円)

区分	市村の一般会計 予算額 (A)	消防費 歳出 予算額 (B)	消防費 に係る 基準財 政需要額	消防費 の占め る比率 (B/A)	組合への 負担金
市村					
弥富市	16,240,000	753,368	647,657	4.64	614,760
飛島村	6,340,000	416,619	140,662	6.57	325,240
計	22,580,000	1,169,987	788,319	5.18	940,000

9. 消防本部事務分掌

総務課

庶務係

- (1) 機密に関すること。
- (2) ほう章及び表彰に関すること。
- (3) 渉外に関すること。
- (4) 職員の服務、進退、賞罰及び身分に関すること。
- (5) 職員の人事及び給与並びに旅費に関すること。
- (6) 公平委員会に関すること。
- (7) 退職給与及び職員の共済に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。
- (9) 職員の研修及び教養に関すること。
- (10) 職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (11) 公務災害（通勤による災害を含む。）に関すること。
- (12) 公告式に関すること。
- (13) 重要な企画及び総合調整に関すること。
- (14) 条例、規則等の審査に関すること。
- (15) 公印の管守に関すること。
- (16) 文書の収受及び発送に関すること。
- (17) 完結文書の整理保存に関すること。
- (18) 公文書の公開に関すること。
- (19) 情報公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (20) 行政不服審査会に関すること。
- (21) 応援協定に関すること。
- (22) 組合議会に関すること。
- (23) 事務引継ぎに関すること。
- (24) 訴訟事件の対応に関すること。
- (25) 事務の近代化に関すること。
- (26) 広報誌に関すること。
- (27) 消防長会に関すること。
- (28) 市町村会に関すること。
- (29) 海部地方消防通信指令事務協議会に関すること。
- (30) 組合構成市村との連絡調整に関すること。
- (31) 課の庶務に関すること。
- (32) 他の課係の所管に属しないこと。

財務係

- (1) 組合財政全般の企画及び連絡調整に関すること。
- (2) 予算の編成及び予算統制並びに決算に関すること。
- (3) 支払に関すること。
- (4) 組合債に関すること。

- (5) 一時借入金に関する事。
- (6) 財政事情に関する事。
- (7) 組合財産に関する事。
- (8) 監査委員に関する事。
- (9) 物品の管理及び災害共済に関する事。
- (10) 物品の購入に関する事。
- (11) 貸与品に関する事。
- (12) 基金に関する事。
- (13) 契約に関する事。
- (14) 建築営繕に関する事。
- (15) 庁舎管理に関する事。
- (16) その他財務に関する事。

予 防 課

予 防 係

- (1) 消防同意に関する事。
- (2) 防火対象物の消防用設備等又は特殊消防用設備の設置及び検査等に関する事。
- (3) 防火対象物の査察及び指導に関する事。
- (4) 火災の原因、損害の調査及び報告に関する事。
- (5) 火災予防運動の企画に関する事。
- (6) 火災統計に関する事。
- (7) 建築統計に関する事。
- (8) 火災予防条例に関する事。
- (9) 防火思想の普及計画に関する事。
- (10) 高齢者その他の災害弱者の防災指導に関する事。
- (11) 少年消防クラブに関する事。
- (12) 予防関係資器材の購入及び管理に関する事。
- (13) 分掌事務に係る契約に関する事。
- (14) 課の庶務に関する事。
- (15) その他一般予防に関する事。

危 険 物 係

- (1) 危険物規制に関する事。
- (2) 危険物製造所等の火災の原因、損害の調査及び報告に関する事。
- (3) 危険物製造所等の査察及び指導に関する事。
- (4) 危険物の安全管理に関する事。
- (5) 危険物に係る火災予防条例に関する事。
- (6) 危険物の統計に関する事。
- (7) 圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質に関する事。
- (8) 石油コンビナート等災害防止法（昭和50年法律第84号）に関する事。
- (9) 煙火の消費の許可等に関する事。
- (10) 危険物保安技術協会との連絡調整に関する事。

(11) その他危険物に係る火災予防に関する事。

査 察 指 導 係

- (1) 防火対象物及び危険物製造所等の査察及び指導の総括に関する事。
- (2) 防火管理者に関する事。
- (3) 防火対象物の消防用設備等又は特殊消防用設備等の維持管理に関する事。
- (4) 防火対象物及び危険物製造所等の違反是正に関する事。
- (5) 火災の原因、損害の調査及び報告の総括に関する事。
- (6) その他査察及び防火指導に関する事。

消 防 課

消 防 係

- (1) 消防業務、救急業務及び救助業務（以下「消防業務等」という。）の企画及び調査に関する事。
- (2) 消防業務等の安全管理に関する事。
- (3) 消防隊、救急隊及び救助隊の運用に関する事。
- (4) 消防訓練、救急訓練及び救助訓練に関する事。
- (5) 消防隊員、救急隊員及び救助隊員の教育及び研修に関する事。
- (6) 消防訓練その他の訓練の指導に関する事。
- (7) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (8) 救急及び救助統計に関する事。
- (9) 救急救命士に関する事。
- (10) 消防、救急及び救助に関する被服及び装備品の購入及び貸与並びに管理に関する事。
- (11) 空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等（催物の開催を除く。）に係る火災予防条例に関する事。
- (12) 分掌事務に係る契約に関する事。
- (13) 本部署所の連絡調整に関する事。
- (14) 消防団との連絡調整に関する事。
- (15) 医療機関その他の救急関係機関との連絡調整に関する事。
- (16) 緊急消防援助隊に関する事。
- (17) 課の庶務に関する事。
- (18) その他消防業務に関する事。

機 械 係

- (1) 自動車及び原動機付自転車（以下「車両」という。）の購入に関する事。
- (2) 消防機械器具、救急機械器具、救助機械器具及び通信機械器具（以下「消防機械器具等」という。）並びに消防業務等に係る物品の購入に関する事。
- (3) 車両及び消防機械器具等の整備保全及び総括管理に関する事。
- (4) 消防機械器具等の取扱技術の指導に関する事。
- (5) 車両の燃料に関する事。
- (6) 分掌事務に係る契約に関する事。
- (7) その他消防機械器具等に関する事。

10. 消防署事務分掌

警防第1課、警防第2課、警防第3課（出張所の各係を除く。）

* 警防係

- (1) 警防対策に関すること。
- (2) 火災その他の災害の警防及び防ぎよに関すること。
- (3) 消防訓練その他の訓練に関すること。
- (4) 消防対象物の調査に関すること。
- (5) 消防機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- (6) 消防車両等及び原動機付自転車の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- (7) 地理及び消防水利の調査、点検に関すること。
- (8) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (9) 空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙又は火炎を發するおそれのある行為に係る火災予防条例に関すること。
- (10) 消防広報に関すること。
- (11) 管区務に関すること。
- (12) 消防無線等消防通信の企画及び運用に関すること。
- (13) 通信機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- (14) 警防活動等の支援情報に関すること。
- (15) 気象観測業務に関すること。
- (16) 緊急通報システムに関すること。
- (17) 災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (18) 通信統計及び気象統計その他の統計に関すること。
- (19) その他消防業務に関すること。
- (20) 他係の所管に属さないこと。

* 救急救助係

- (1) 救急業務及び救助業務に関すること。
- (2) 救急訓練及び救助訓練に関すること。
- (3) 救急機械器具及び救助機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- (4) 救急車両及び救助車両の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること（分署の各係にあつては、救助車両の整備保全、点検及び管理に関するものを除く。）。
- (5) 応急手当の普及及び指導に関すること。
- (6) 救急統計及び救助統計その他の統計に関すること。
- (7) 管区務に関すること。
- (8) 救急医療情報システムに関すること。
- (9) その他救急業務及び救助業務に関すること。

出張所（警防第1係、警防第2係、警防第3係）

- (1) 警防対策に関する事。
- (2) 火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- (3) 救急業務及び救助業務に関する事。
- (4) 消防訓練及び救急訓練並びに救助訓練その他の訓練に関する事。
- (5) 消防対象物の調査に関する事。
- (6) 消防機械器具及び救急機械器具並びに救助機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関する事。
- (7) 消防車両等及び救急車両並びに原動機付自転車の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関する事。
- (8) 地理及び消防水利の調査、点検に関する事。
- (9) 軽易な火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (10) 空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙又は火炎を發するおそれのある行為に係る火災予防条例に関する事。
- (11) 応急手当の普及及び指導に関する事。
- (12) 消防広報に関する事。
- (13) 火災統計及び救急統計並びに救助統計その他の統計に関する事。
- (14) 管区務に関する事。
- (15) その他消防業務及び救急業務並びに救助業務に関する事。

消 防 現 勢

1. 消防庁舎概要

(1) 所在地

消防本部 消防署	〒490-1438	愛知県海部郡飛島村大宝五丁目182番地
北分署	〒498-0007	愛知県弥富市鎌倉町123番地
南出張所	〒490-1444	愛知県海部郡飛島村木場二丁目3番地

(2) 敷地

消防本部 消防署	13,734.79 m ²
北分署	5,055.00 m ²
南出張所	500.00 m ² (飛島村からの借地)

(3) 庁舎

名称	建設年月日	構造	延べ面積
本署庁舎	S48.12.17	鉄筋コンクリート造 3階建	1,502.28m ²
本署増築	H3.1.31	鉄骨造 3階建	84.00m ²
別棟倉庫	S55.9.8	鉄骨造 2階建	253.59m ²
別棟車庫	S58.12.20	鉄骨造 平屋建	51.83m ²
梯子等収納庫	H10.11.25	鉄骨造 平屋建	105.00m ²
訓練塔	H16.3.15	鉄骨造 高さ16.62m	65.32m ²
北分署庁舎	S56.12.15	鉄筋コンクリート造 2階建	753.82m ²
北分署訓練塔	S56.12.15	鉄筋コンクリート造 高さ16.0m	
南出張所庁舎	S63.4.1	鉄骨造 2階建	200.00m ² (飛島村から借用)
南出張所増築	H8.3.15	鉄骨造 2階建	224.68m ²

2. 現有消防力

令和3年4月1日現在

区 分		現 有
指 揮 車		1
消 防 ポ ン プ 自 動 車		5
は し ご 自 動 車		0
化 学 自 動 車		0
三 セ ッ 点 ト	大 型 高 所 放 水 車	1
	大 型 化 学 車	1
	泡 原 液 搬 送 車	1
救 助 工 作 車		1
救 急 自 動 車		3
特 殊 車 等		2
消 防 艇		0

※ 1 はしご自動車及び化学自動車を現有していないのは、三点セットの大型高所放水車及び大型化学車で、それぞれ代替できるため。

※ 2 消防艇を現有していないのは、応援協定を締結（名古屋市及び名古屋海上保安部）して対応しているため。

令和3年4月1日現在

区 分	現 在
指 揮 隊 員 、 消 防 隊 員 救 急 隊 員 、 救 助 隊 員	8 1
通 信 員	3
予 防 要 員	8
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	1 2
合 計	1 0 4

3. 職員採用・退職状況

令和3年4月1日現在

年月日	区分			年月日	区分		
	採用 (人)	退職 (人)	職員数 (人)		採用 (人)	退職 (人)	職員数 (人)
昭和48年 4月 1日	26		26	平成 7年 3月31日		1	84
昭和48年 5月 1日	3		29	平成 7年 4月 1日	5		89
昭和48年 9月 1日	5		34	平成 8年 4月 1日	4		93
昭和48年11月 1日	2		36	平成 9年 3月31日		1	92
昭和49年 3月 1日	3		39	平成 9年 4月 1日	4		96
昭和49年 4月 1日	3		42	平成10年 3月31日		1	95
昭和49年11月 1日	3		45	平成10年 4月 1日	4		99
昭和50年 4月 1日	3		48	平成11年 3月31日		4	95
昭和52年 4月 1日	6		54	平成11年 4月 1日	4		99
昭和53年 4月 1日	5		59	平成12年 3月31日		1	98
昭和53年12月31日		1	58	平成12年 4月 1日	1		99
昭和54年 4月 1日	1		59	平成13年 3月31日		1	98
昭和56年 4月 1日	5		64	平成13年 4月 1日	1		99
昭和56年12月 3日		1	63	平成14年 3月31日		1	98
昭和57年 4月 1日	5		68	平成14年 4月 1日	3		101
昭和58年 4月 1日	4		72	平成15年 4月 1日	4		105
昭和59年 4月 1日	5		77	平成16年 3月31日		1	104
昭和60年 3月30日		1	76	平成17年 3月31日		1	103
昭和60年 4月 1日	3		79	平成18年 3月31日		4	99
昭和61年 4月 1日	1		80	平成18年 4月 1日	2		101
昭和61年12月31日		2	78	平成19年 3月31日		2	99
昭和62年 4月 1日	2		80	平成19年 4月 1日	2		101
昭和63年 3月31日		1	79	平成20年 3月31日		2	99
昭和63年 4月 1日	2		81	平成20年 4月 1日	3		102
昭和63年12月31日		1	80	平成20年 4月26日		1	101
平成 元年 3月31日		1	79	平成21年 3月31日		1	100
平成 元年 4月 1日	2		81	平成21年 4月 1日	3		103
平成 元年 8月 7日		1	80	平成21年 7月31日		1	102
平成 2年 4月 1日	2		82	平成22年 3月31日		4	98
平成 3年 4月 1日	1		83	平成22年 4月 1日	3		101
平成 3年 6月 6日		1	82	平成23年 3月31日		4	97
平成 3年 6月30日		1	81	平成23年 4月 1日	4		101
平成 3年12月31日		2	79	平成23年 7月31日		1	100
平成 4年 2月29日		1	78	平成24年 3月31日		2	98
平成 4年 4月 1日	2		80	平成24年 4月 1日	4		102
平成 5年 3月31日		1	79	平成24年 4月30日		1	101
平成 5年 4月 1日	2		81	平成24年 9月30日		1	100
平成 6年 4月 1日	4		85	平成25年 3月31日		2	98

4. 職員配置状況

令和3年4月1日現在

職課名		階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
		消防長	次長									
消防本部	消防長			1							1	
	次長				1							
	総務課	課長		1								1
		主幹				1						1
		補佐				(1)						(1)
		係長										
		主任										
		係							1		1	2
	予防課	課長				1						1
		主幹										
		補佐					1	1				2
		係長				(1)	1	1				1
		主任						1				1
	消防課	係							2		1	3
		課長				1						1
		主幹										
		補佐						1				1
		係長						(2)				(2)
		主任						1				1
		係							1			1
派遣職員		補佐						1				1
		係長						1				1
		主任										
	係									1	1	
消防署	消防署長				(1)						(1)	
	副署長				2						2	
	本署	警防課長				3						3
		主幹				2						2
		補佐						6				6
		係長						10				10
		主任						3				3
		係							8	1	14	23
	分署	分署長			(1)							(1)
		補佐				1	2					3
		係長					7					7
		主任					2					2
		係							3	1	8	12
	出張所	出張所長				1						1
		補佐						1				1
係長							5				5	
主任												
計				1	4	11	43	16	2	27	104	
() は兼務					(2)	(2)	(3)				(7)	

備考 消防課派遣職員の内訳は、海部地方消防通信指令事務協議会 3名
係長には、統括主任を含む。

5. 職員階級別年齢状況

令和3年4月1日現在

階級 年齢	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消 防 士	計
平均年齢	59.0	57.5	54.3	44.1	31.8	30.5	23.4	38.3
～18歳							2	2
19～20歳							2	2
21～22歳							5	5
23～24歳							9	9
25～26歳							6	6
27～28歳							3	3
29～30歳					3	1		4
31～32歳					8	1		9
33～34歳				2	5			7
35～36歳								
37～38歳				2				2
39～40歳				4				4
41～42歳				7				7
43～44歳				8				8
45～46歳				10				10
47～48歳			1	4				5
49～50歳				3				3
51～52歳			2					2
53～54歳				2				2
55～56歳			6					6
57～58歳		4	2	1				7
59～60歳	1							1
61～								
計	1	4	11	43	16	2	27	104

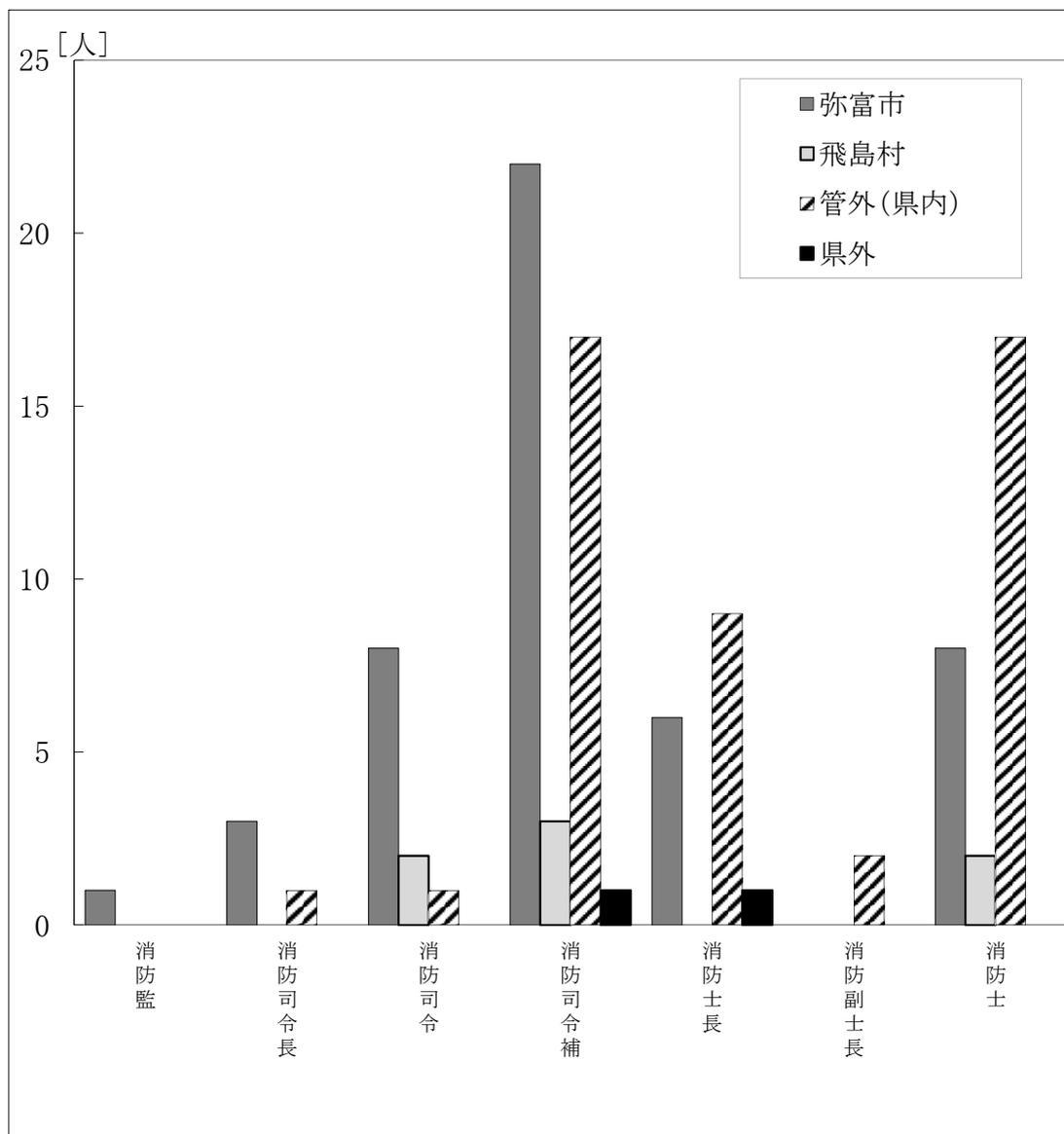
6. 職員教養実施状況

令和3年4月1日現在

機 関 等	階 級 科 目	消	消	消	消	消	消	消	計
		防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士	
消防大学校	幹部科	1		2	1				4
	本科		1						1
	警防科			1	2				3
	予防科		1						1
	救助科		1	2	2				5
	救急科				1				1
	新任教官科				2				2
	緊援隊教育科（NBC）				1				1
愛知県消防学校	初任科	1	4	11	43	16	2	23	100
	幹部科（初級）			2	4				6
	幹部科（中級）	1		1	2				4
	幹部科（上級）			1					1
	警防科		2	4	12				18
	救急科	1	2	9	31	16	2	18	79
	予防科（予防課程）				1				1
	予防科（予防査察科）	1		1	4	1			7
	予防科（火災調査科）	1	1	2	4	3			11
	予防科（危険物科）	1		1	4	1			7
	地震科・地震防災科	1	1	2	13	2			19
	特殊災害科			1					1
	救助科		3	5	14	5			27
	救助科（水難）			1	4	1	1		7
	指導員養成科			2					2
	指揮隊科			3	3				6
はしご自動車等運用科			1	8	1			10	
知多地域	救急Ⅰ課程				9				9
	救急Ⅱ課程		2	2	11				15
救急振興財団	救急救命士養成		1		16	3			20
名古屋市・大阪市消防局				2	2	1			5
派遣職員	愛知県実務研修生	1		2	1				4
	愛知県消防学校				2				2
	愛知県防災ヘリ			1	1				2
	愛知万博				1				1
	名古屋市消防局		1		1				2
	海部地方人事交流		3	3	2				8

7. 職員住居地状況

階級 住居地	消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	計
弥富市	1	3	8	22	6		8	48
飛島村			2	3			2	7
管外(県内)		1	1	17	9	2	17	47
県外				1	1			2
計	1	4	11	43	16	2	27	104

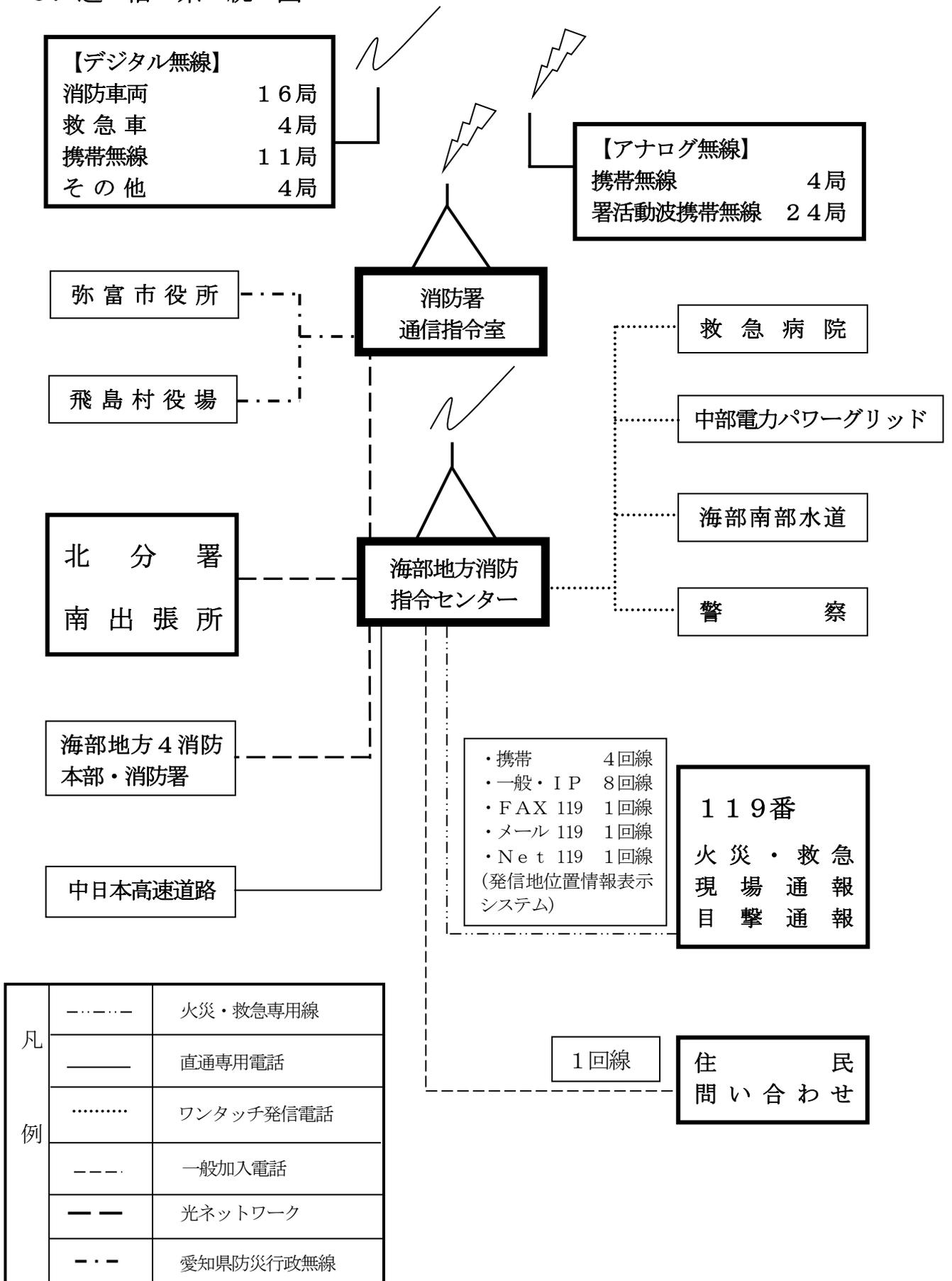


8. 職員資格等保有状況

令和3年4月1日現在

階 級 種 別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
普通自動車運転免許	1	4	11	43	16	2	27	104
大型自動車運転免許	1	4	11	43	16	2	15	92
大型特殊自動車免許			1	3			1	5
けん引自動車免許				4				4
小型船舶操縦士		1	6	24	8		7	46
自動二輪車免許			2	17	6	1	4	30
自動車整備士				1				1
危険物取扱者	1	2	2	16	2		1	24
一般劇毒物取扱者				2				2
消防設備士				2				2
潜水士		2	1	17	8	1	2	31
玉掛技能講習	1	4	11	43	16	2	23	100
小型移動式クレーン	1	4	11	43	15	1	1	76
ガス・アーク溶接技士			1	1				2
特殊無線技士	1	4	11	43	16	2	23	100
足場作業主任				3	1			4
衛生管理者	1			3			1	5
ボイラー技士			1					1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者				4	1			5
J P T E C 講習		1	3	24	13	2	8	51
M C L S 講習			1	7	2			10
予防技術検定資格者		1	4	8	2			15
救急救命士		1	2	19	4		1	27
気管挿管認定救命士		1	1	9				11
薬剤投与認定救命士		1	2	18	3		1	25
処置範囲拡大認定救命士			1	18	2		1	22

9. 通 信 系 統 図



10. 無線施設現有状況

【デジタル無線】

種 別	呼 出 名 称	出 力	免許年月日	備 考
基 地 局	あまなんぶしょうぼう	20W	R 1 . 6 . 1	海部地方消防指令センター

種 別	呼 出 名 称	出 力	免許年月日	備 考	
本	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 1	5W	R 1 . 6 . 1	救 急 1 号 車
	〃	きゅうきゅうあまなんぶ 4	5	R 1 . 6 . 1	救 急 4 号 車
	〃	あまなんぶ 1	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 1 号 車
	〃	〃 4	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 4 号 車
	〃	〃 6	5	R 1 . 6 . 1	大 型 化 学 車
	〃	〃 31	5	R 1 . 6 . 1	高 所 放 水 車
	〃	〃 41	5	R 1 . 6 . 1	救 助 工 作 車
	〃	〃 43	10	R 1 . 6 . 1	津波・大規模風水害対策車
	〃	〃 51	5	R 1 . 6 . 1	指 揮 車
	〃	〃 72	5	R 1 . 6 . 1	泡 原 液 搬 送 車
	〃	〃 73	5	R 1 . 6 . 1	資 機 材 搬 送 車
	〃	〃 74	5	R 1 . 6 . 1	査 察 1 号 車
	〃	〃 75	5	R 1 . 6 . 1	査 察 2 号 車
署	携 帯 局	〃 101~106	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 201	5	R 1 . 6 . 1	
	可 搬 型	〃 301	5	R 1 . 6 . 1	指 揮 車 積 載
北 分 署	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 2	5	R 1 . 6 . 1	救 急 2 号 車
	〃	あまなんぶ 2	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 2 号 車
	〃	〃 5	5	R 1 . 6 . 1	ポ ン プ 2 号 車
	〃	〃 7	5	R 1 . 6 . 1	ポ ン プ 1 号 車
	〃	〃 61	5	R 1 . 6 . 1	広 報 車
	携 帯 局	〃 107~109	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 202	5	R 1 . 6 . 1	
南 出 張 所	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 3	5	R 1 . 6 . 1	救 急 3 号 車
	〃	あまなんぶ 3	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 3 号 車
	携 帯 局	〃 110・111	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 203	5	R 1 . 6 . 1	

【アナログ無線】

〔署活動波携帯無線〕

種 別	呼 出 名 称	出 力	免 許 年 月 日	備 考
携 帯 局	あまなんぶ 401～411	1W	R 2.6.1	本 署 待 機 室
〃	〃 421～428	1	R 2.6.1	北 分 署 待 機 室
〃	〃 431～433	1	R 2.6.1	南 出 張 所 待 機 室
〃	〃 434、435	1	R 2.6.1	本 署 待 機 室

〔防災相互通信用無線〕

種 別	呼 出 名 称	出 力	免 許 年 月 日	備 考
携 帯 局	あまなんぶ 116・117	5W	H 28.6.1	通 信 指 令 室 (津波・大規模風水害対策車)

〔飛島特別防災区域防対無線〕

種 別	呼 出 名 称	出 力	免 許 年 月 日	備 考
基 地 局	とびしまぼうたい	10W	H 28.6.1	通 信 指 令 室
移 動 局	〃 1	5	H 28.6.1	消 防 署
〃	〃 2	5	H 28.6.1	飛 島 村 役 場

1 1. 消防車両等現有状況

名 称	登録番号	年式	車 名	所 属	ポンプ	備 考
指 揮 車	名古屋 843 な 119	R2	トヨタ	本 署		ドローン積載
広 報 車	名古屋 836 な 119	H17	トヨタ	北分署		
査 察 1 号 車	名古屋 840 ひ 119	H24	ホンダ	本 部		ハイブリッド自動車
査 察 2 号 車	名古屋 838 み 119	H20	トヨタ	本 部		ハイブリッド自動車
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (1)	名古屋 841 な 119	H26	日 野	本 署	A-2	水 2,000 L 圧縮空気泡吐出装置 (C A F S) ホースカー
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (2)	名古屋 841 に 119	H26	日 野	北分署	A-2	水 2,000 L 圧縮空気泡吐出装置 (C A F S) ホースカー
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (3)	名古屋 838 す 119	H19	日 野	南出張所	A-2	水 2,000 L ホースカー、放水銃
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (4)	名古屋 800 そ 4870	H18	日 野	本 署	A-2	水 1,500 L ホースカー
消 防 ポンプ車 (1)	名古屋 834 ぬ 119	H16	いすゞ	北分署	A-2	動力ホースカー (動力昇降装置付)
消 防 ポンプ車 (2)	名古屋 831 ほ 119	H12	三 菱	北分署	A-2	動力ホースカー (動力昇降装置付)
大 型 高 所 放 水 車	名古屋 832 り 119	H13	日 野	本 署	A-2	最大高 30m バスケット
大 型 化 学 車	名古屋 833 め 119	H14	三 菱	本 署	A-1	泡原液 2,000 L 自動比例混合装置
泡原液搬送車	名古屋 835 ひ 119	H17	日 野	本 署	ギヤー	泡原液 6,000 L
救 助 工 作 車	名古屋 830 に 41	R3	日 野	本 署		電源照明、クレーン、 ウインチ等
津波・大規模 風水害対策車	名古屋 800 ま 3114	H26	日 野	本 署		水陸両用バギー他水難 救助資機材を装備

名 称	登録番号	年式	車 名	所 属	ポ ン プ	備 考
水陸両用バギー	飛島村 0641	H26		本 署		津波・大規模風水害対策車積載
資機材搬送車 (1)	名古屋 832 た 119	H12	日 産	本 署		5.5トン車 クレーン
資機材搬送車 (2)	名古屋 480 て 8735	H26	スズキ	南出張所		
救 急 車 (1)	名古屋 841 も 119	H27	日 産	本 署		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 車 (2)	名古屋 842 む 119	H29	トヨタ	北分署		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 車 (3)	名古屋 843 つ 119	R1	日 産	南出張所		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 車 (4)	名古屋 840 ふ 119	H24	日 産	本 署		高規格救急車 救急資器材一式
連 絡 車	名古屋 338 や 119	H23	トヨタ	本 部		
連絡 2 号車	名古屋 502 も 4473	H16	マツダ	本 部		
連絡 3 号車	名古屋 483 そ 119	H26	三 菱	本 部		
連絡 4 号車	名古屋 507 す 4206	H29	トヨタ	本 部		ハイブリッド自動車
原 動 機 付 自 転 車	飛島村	H12	ホンダ	本 署		
	飛島村	H13	ホンダ	本 署		
	飛島村	H14	ホンダ	本 署		
	飛島村	H30	ホンダ	本 署		
	旧 弥富町	H16	ホンダ	北分署		
	旧 弥富町	H16	ホンダ	北分署		

名 称	数 量	所 属	型 式
小型動力ポンプ	1	本 署	トーハツVF63AS B-2
	1	北分署	シバウラSF655 B-3
	1	南出張所	シバウラSF655 B-3

船外機付舟艇	1	本署	FRP製(船外機ヤマハ) H12.12.15
	1	本署	※ ゴムボート(船外機トーハツ) H26.4.28
	1	本署	※ FRP製・組立式(船外機トーハツ) H26.4.28
	1	本署	ウレタンボート(船外機トーハツ) H29.8.8
	1	北分署	アルミ製(船外機ヤマハ) H8.9.17
	1	北分署	ゴムボート(船外機トーハツ) H23.7.29
	1	南出張所	FRP製・組立式(船外機トーハツ) H26.3.4

※ 津波・大規模風水害対策車(総務省消防庁無償貸与車両)積載

12. 機械器具現有状況

消火用特殊機械器具等			
化学車積載泡消火剤 メガフォーム(3%)	1,868 L	県泡消火剤貯蔵タンク No.1 メガフォーム(3%)	900 L
泡消火剤(3%)	927 L	県泡消火剤貯蔵タンク No.2 メガフォーム(3%)	9,800 L
		県泡消火剤貯蔵タンク No.3 アルコフォーム(フツ化 ^{たんぱく} 蛋白3%)	7,000 L
泡管銃 ^{そう} (3,000L型)	2	放水銃	4
エアフォームノズル200型	7	放水砲	1
エアフォームノズル400型	4	インパルス放水銃	1
ラインプロポーショナー	4	泡ノズルアタッチメント	6

救助用資機材			
かぎ付はしご	4	ストライカー	4
三連はしご	7	除染シャワー	1式
空気式救助マット(救助幕)	2	耐電手袋	12
救命索発射銃	1	耐電衣	6
救助用縛帯	15	耐電長靴	6
バスケット型担架	4	可搬式ウインチ	5
油圧カッター(大型含む。)	2	エンジンカッター	4
油圧スプレッター(大型含む。)	2	ガス溶断機	2
油圧ジャッキ	2	チェーンソー	8

電動油圧コンビツール	1	特殊カッター	7
ラムシリンダー (ピストンタイプ)	2	万能斧 (トップマン)	15
投光器一式	9	拡声器	17
携帯無線機 (デジタル)	11	バルーン型投光器	1
署活動派携帯無線機 (アナログ)	24	ハンマードリル	5
トランシーバー	32	マット型空気ジャッキ	2式
耐熱服	4	ルーカスレスキューツール	1式
救助用支柱器具	2式	チェーンブロック	2
応急処置用セット	2	マンホール救助器具	1式
レスキュープラットホーム	1	送排風機	3
空気呼吸器	49	救命浮環	17
予備ボンベ (充填用ボンベ)	100	救命胴衣	149
空気鋸 (電気式含む。)	3式	水難救助機器一式	5式
複合ガス検知警報器	9	水中無線機	6
ポケット線量計	20	熱画像直視装置 (フレアー)	2
携帯警報器	20	簡易画像探索機	2
陽圧式化学防護服一式	10	画像探索機Ⅰ型	1
放射線防護服一式	5	画像探索機Ⅱ型	1
山岳救助用器具	1式	残火確認装置 (アルゴス)	1
平担架	3	地震警報器	1
空気拡張式テント	1式	地中音響探知機	1
ワンタッチテント	2	夜間用暗視装置	1
無人航空機ドローン	1	車両移動器具	1式

救急処置用資器材等			
バックボード	12式	酸素加湿器	8
自動体外式除細動器	16式	酸素加湿器ボンベ (10L)	23
輸液用資器材	2式	酸素ボンベ (2L)	23
自動心臓マッサージシステム	2式	全自動小型高圧蒸気滅菌器	2
マジックギブス	4	オゾン発生装置等	2式
ポータブル吸引器	8	静脈採血注射モデル	3
血中酸素飽和度測定器	8	マイクロベント人工呼吸器	3
終末呼気炭酸ガス濃度測定器	6	喉頭鏡	10式
高度救命処置訓練用人形	5	気管挿管練習モデル	1
心肺蘇生訓練用人形 (大人)	6	AEDトレーナー	15式
心肺蘇生訓練用人形 (上半身モデル)	24	心肺蘇生訓練用人形 (ベビー)	5
心肺蘇生訓練用人形 (小児)	3	人工呼吸用モデル人形	10
心肺蘇生訓練用ディ(乳児・小児)	1	自動手指消毒器	3

津波・大規模風水害対策車積載資機材（総務省消防庁無償貸与車両積載）			
水陸両用バギー	1	トランシーバー	5
ドライスーツ	10	携帯無線機（アナログ無線）	2
ライフジャケット	20	スローバッグ	5
胴付長靴	20	ガイドベルト	5
高圧洗浄機	1	フローティングロープ	3
フローティング担架	1	救助用伸縮棒（レスキュースティック）	1
スケッドストレッチャー	1	船外機付舟艇	2

予 防 関 係 資 機 材 等			
磁粉探傷器	1	騒音計	1
超音波厚さ計	2	オーバーヘッドプロジェクター	1
熱電対温度計	1	オートキャビン	1
炭化深度計	1	カメラ	1
火災感知試験器	1	レベル計	1
建築内装材総合試験器	1	デジタル警報地震計	1
石油燃焼爆発試験器	1	配線試験器	1
自動式配電試験器	1	ダイヤルディプスゲージ	1
自動火災報知設備説明版	1	溶接ゲージ	1
ノズル圧力測定器	2	銘板打刻装置	1
住宅用火災警報器展示パネル	1	引火点測定器	3
16ミリ映写機	1	サーチライト	1
防火フィルム	24	LEDライト	3
デジタルカメラ	3	地震発生説明装置	1
液状化実験装置	1		

13. 応援協定等締結状況

令和3年4月1日現在

締 結 先	締 結 内 容	締 結 年 月 日
名古屋海上保安部	火 災 業 務	昭和50年12月10日
桑名市（三重県）	火 災 ・ 救 急 業 務	平成3年11月18日
名古屋	火 災 ・ 救 急 業 務	平成6年5月30日
県下市町村及び同消防一部事務組合	大規模な災害等における火災・救急業務	平成15年4月1日
桑名市（三重県）	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務 （ 高 速 道 路 ）	平成19年11月21日
海部地方市町村及び同消防一部事務組合	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務	平成23年4月27日
県下高速道路	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務	平成30年7月31日
愛 知 県	愛知県防災行政用無線の運用及び管理	平成14年12月1日
愛 知 県	夜間照明設備の保管	令和2年12月1日
愛 知 県	愛知県広域災害・救急医療情報システム	平成16年6月1日
愛 知 県	消火薬剤の保管等	平成21年3月9日
愛知県及び県下市町村並びに同消防一部事務組合	県防災ヘリコプターの応援	平成19年8月1日
津島市・愛西市・蟹江町・海部東部消防組合	海部地方消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書	平成25年2月4日
愛西市・蟹江町・海南病院	医師派遣用自動車運用	平成25年6月1日
愛知県津島保健所	感染症患者等の移送	平成31年4月1日
名港海運株式会社	災害による浸水時における緊急一時避難施設としての施設使用	令和元年12月23日
海南土建株式会社 株式会社佐藤工務店 株式会社中島水道 大栄建設株式会社 有限会社黒宮造園	消防活動における重機等による支援	令和2年4月17日

※ 締結年月日は、再締結した場合は、その日付を記載

予 防 事 務 統 計

1. 防火対象物状況（自動火災報知設備以上）

令和3年3月31日現在

(単位:棟)

区 分		弥富市	飛島村	合 計	
1	イ	劇場、映画館等	1	1	
	ロ	公会堂、集会場	19	6	25
2	イ	キャバレー、カフェー等	1		1
	ロ	遊技場等	3		3
	ハ	風俗営業等			
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	9	1	10
4		店舗等	26	3	29
5	イ	旅館等	5		5
	ロ	共同住宅等	133	3	136
6	イ	病院、診療所等	16		16
	ロ	老人短期入所施設等	15	2	17
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	4	29
	ニ	幼稚園、特別支援学校	1		1
7		小、中、高等学校等	36	2	38
8		図書館、美術館等	1		1
9	イ	蒸気、熱気浴場等			
	ロ	公衆浴場			
10		車両又は船舶の発着場	2		2
11		神社、寺院等	3		3
12	イ	工場、作業場	251	229	480
	ロ	映画スタジオ等			
13	イ	自動車車庫、駐車場	5	2	7
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	224	326	550
15		その他の事業場	40	40	80
16	イ	複合防火対象物（特定）	39	14	53
	ロ	〃（その他）	11	2	13
17		重要文化財	1	1	2
計			867	636	1,503

2. 用途別建築物同意数状況

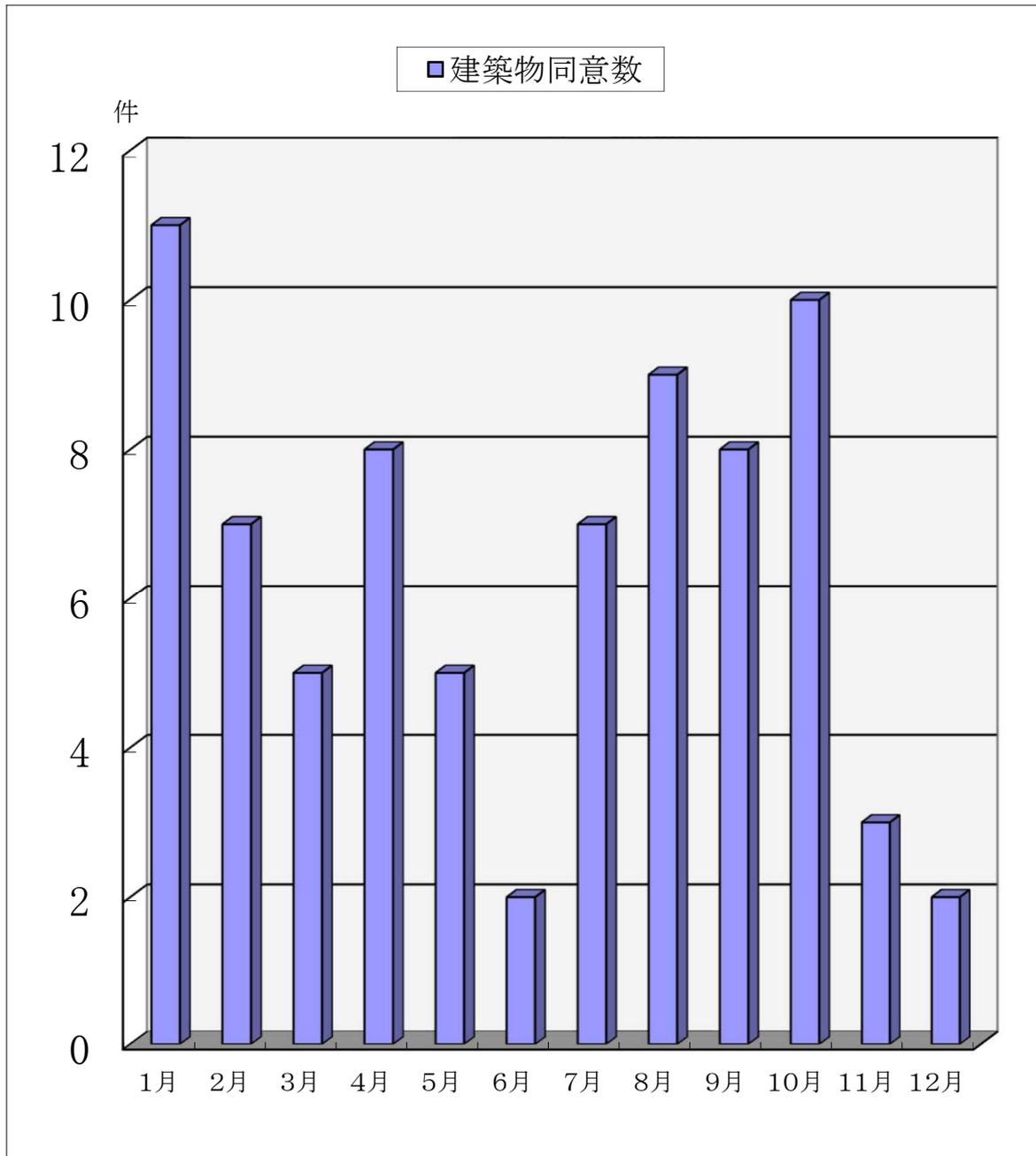
令和2年中

区 分		弥富市	飛島村	合 計
1	イ	劇場、映画館等		
	ロ	公会堂、集会場	2	2
2	イ	キャバレー、カフェー等		
	ロ	遊技場等		
	ハ	風俗営業等		
	ニ	カラオケボックス等		
3	イ	待合、料理店等		
	ロ	飲食店		2
4		店舗等	1	1
5	イ	旅館等		
	ロ	共同住宅等	6	1
6	イ	病院、診療所等		
	ロ	老人短期入所施設等	1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等		
	ニ	幼稚園、特別支援学校		
7		小、中、高等学校等		
8		図書館、美術館等		
9	イ	蒸気、熱気浴場等		
	ロ	公衆浴場		
10		車両又は船舶の発着場		
11		神社、寺院等	1	1
12	イ	工場、作業場	9	4
	ロ	映画スタジオ等		
13	イ	自動車車庫、駐車場		
	ロ	飛行機等の格納庫		
14		倉庫	10	1
15		その他の事業場	11	6
16	イ	複合防火対象物(特定)		1
	ロ	〃(その他)	2	2
17		重要文化財		
		住宅等	12	1
		工作物		
		納屋・物置・農業用倉庫等	5	1
		計	60	17

3. 月別建築物同意数状況

令和2年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建築物同意数	11	7	5	8	5	2	7	9	8	10	3	2	77



4. 工事別建築物同意数状況

令和2年中

市村名 工事区分		市村名		
		弥 富 市	飛 島 村	計
新	築	53	13	66
増	築	5	4	9
改	築			
移	転	1		1
用	途 変 更			
大	規 模 な 修 繕			
そ	の 他	1		1
	計	60	17	77

5. 危険物施設数状況

令和3年3月31日現在

市村名 施設区分		市村名		
		弥 富 市	飛 島 村	計
製	造 所		1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	53	45	98
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	16	9	25
	(準 特 定)			
	(特 定)			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	8	5	13
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	27	12	39
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所 (国 際 輸 送 用)	155 (88)	193 (111)	348 (199)
	屋 外 貯 蔵 所	4	6	10
取 扱 所	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	65 (49)	47 (37)	112 (86)
	販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	23	28	51
	移 送 取 扱 所			
	計	352	347	699

6. 危険物製造所等規制事務処理状況

令和2年中

施設区分		事務処理区分		可 完 成 検 査		仮 使 用 承 認
		許 設	可 変 更	設 置	変 更	
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4	1		3	1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所					
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所					
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	2		1		
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所 (国 際 輸 送 用)	13 (7)	4	13 (7)	5	
	屋 外 貯 蔵 所					
取 扱 所	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	2	22 (7)	3 (3)	22 (6)	21 (6)
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所		6	1	5	6
	移 送 取 扱 所					
計		21	33	18	35	28

仮貯蔵・仮取扱	仮 貯 蔵	仮 取 扱	計
	4,639	18	4,657

7. 検査済証交付状況

令和2年中

検査区分		市 村 名		弥 富 市	飛 島 村	計
		設 置	変 更			
完 成 検 査		設 置		8	10	18
		変 更		19	16	35
完 成 検 査 前 検 査	タ ン ク 検 査	水 張		10		10
		水 圧				
		溶 接 部 基 礎 ・ 地 盤				
保 安 検 査						
少 量 タ ン ク 検 査				1		1
計				38	26	64

8. 危険物関係手数料収入額

令和2年度中

手 数 料 種 別		金 額 (円)
許 可	設 置	757,000
	変 更	858,500
完 成	検 査	660,250
完 成 検 査 前 検 査	水 張	48,000
	水 圧	
仮 貯 蔵	・ 仮 取 扱	26,816,400
仮 使 用		151,200
再 交 付	(申 請)	16,000
少 量 タ ン ク	検 査	30,000
計		29,337,350

9. 危険物規制対象数状況

製造所等の別 区分 (指定数量の倍数別)	貯蔵										取扱										移送取扱所						
	屋外貯蔵		屋内貯蔵		特種貯蔵		屋外貯蔵		屋内貯蔵		特種貯蔵		屋外貯蔵		屋内貯蔵		特種貯蔵		屋外貯蔵			屋内貯蔵		特種貯蔵			
対象危険物施設総数	98	25	13	39	2	348	199	10	112	9	86	2	7	49	1	23	51	5	1	1	1	1	1	1			
合計	699	198	25	13	39	2	348	199	10	112	9	86	2	7	49	1	23	51	5	1	1	1	1	1			
5倍以下	66	17	5	3	12	1	17	1	2	2	2	2	1	2	2	2	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
5倍を超え	38	6	5	2	3	11	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
10倍を超え	85	8	6	3	11	12	12	1	41	40	40	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
50倍を超え	43	7	7			36	10		7	5	5																
100倍を超え	76	7	7			68	65		1	1	1																
150倍を超え	6	1	1			1	1		3	1	1																
200倍を超え	32	9	9			10	8		10	6	6																
1,000倍を超え	4	3	3						1																		
5,000倍を超え																											
10,000倍を超えるもの	2	2	2																								
合計	347	145	9	5	12	1	193	111	6	47	2	37	1	28	1	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
5倍以下	48	18	1	4	5	1	12	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
5倍を超え	34	7	2	1	2	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
10倍を超え	78	8	2	3	3	22	2	1	33	33	33	1	1	1	1	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
50倍を超え	34	3	3	2	2	24	2	1	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
100倍を超え	101	1	1			97	78		2	2	2					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
150倍を超え	4	2	2						1																		
200倍を超え	36	3	3			27	25		6	2	2																
1,000倍を超え	6					4	4		2																		
5,000倍を超え																											
10,000倍を超えるもの	6	6	6																								

注 1 屋外タンク貯蔵所の「準特定」の欄には、政令第11条第1項第3号の3、「特定」の欄には、政令第8条の2の3第3項に規定する屋外タンク貯蔵所の数を再掲すること。
 2 移動タンク貯蔵所の「国際輸送用」の欄には、国際輸送用積載式移動タンク貯蔵所の数を再掲すること。
 3 給油取扱所の「吹付塗装作業」、「洗浄作業」、「焼入作業等」、「ボイラー等消費」、「充電」、「切削装置等」、「油圧装置等」、「熟媒体油循環装置等」の欄には、政令第17条第3項及び第5項に規定する特例基準の適用により許可を受けた施設数を再掲すること。
 4 一般取扱所の「吹付塗装作業」、「洗浄作業」、「焼入作業等」、「ボイラー等消費」、「充電」、「切削装置等」、「油圧装置等」、「熟媒体油循環装置等」の欄には、それぞれ政令第19条第2項各号に規定する特例基準の適用により許可を受けた施設数を再掲すること。
 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A3とする。

10. 危険物関係各種届出状況

令和2年中

施設区分 届出等の種類	製	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	給	一	販	移	計
	造	内	外	内	下	易	動	外	油	般	売	送	
	所	貯	タンク	タンク	タンク	タンク	タンク	貯	取	取	取	取	
	所	蔵	貯	貯	貯	貯	貯	蔵	扱	扱	扱	扱	
	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	所	
予防規程認可申請	1	5							22	3			31
危険物保安監督者 選任（解任）届		10	9		6	1		5	28	13			72
譲渡引渡届													
品名、数量又は指定 数量の倍数変更届		5					22		1	2			30
資料提出		3			5		16	1	23	5			53
設置者の氏名等 変更届		6	6	6	12		55	1	18	10			114
休止（再開）届					1					1			2
廃止届			1				7	1	1				10
危険作業開始届													
軽微な工事届			1				393		13	7			414
その他		1			1		5		5				12
計	1	30	17	6	25	1	498	8	111	41			738

1 1. 消防関係各種届出状況

令和2年中

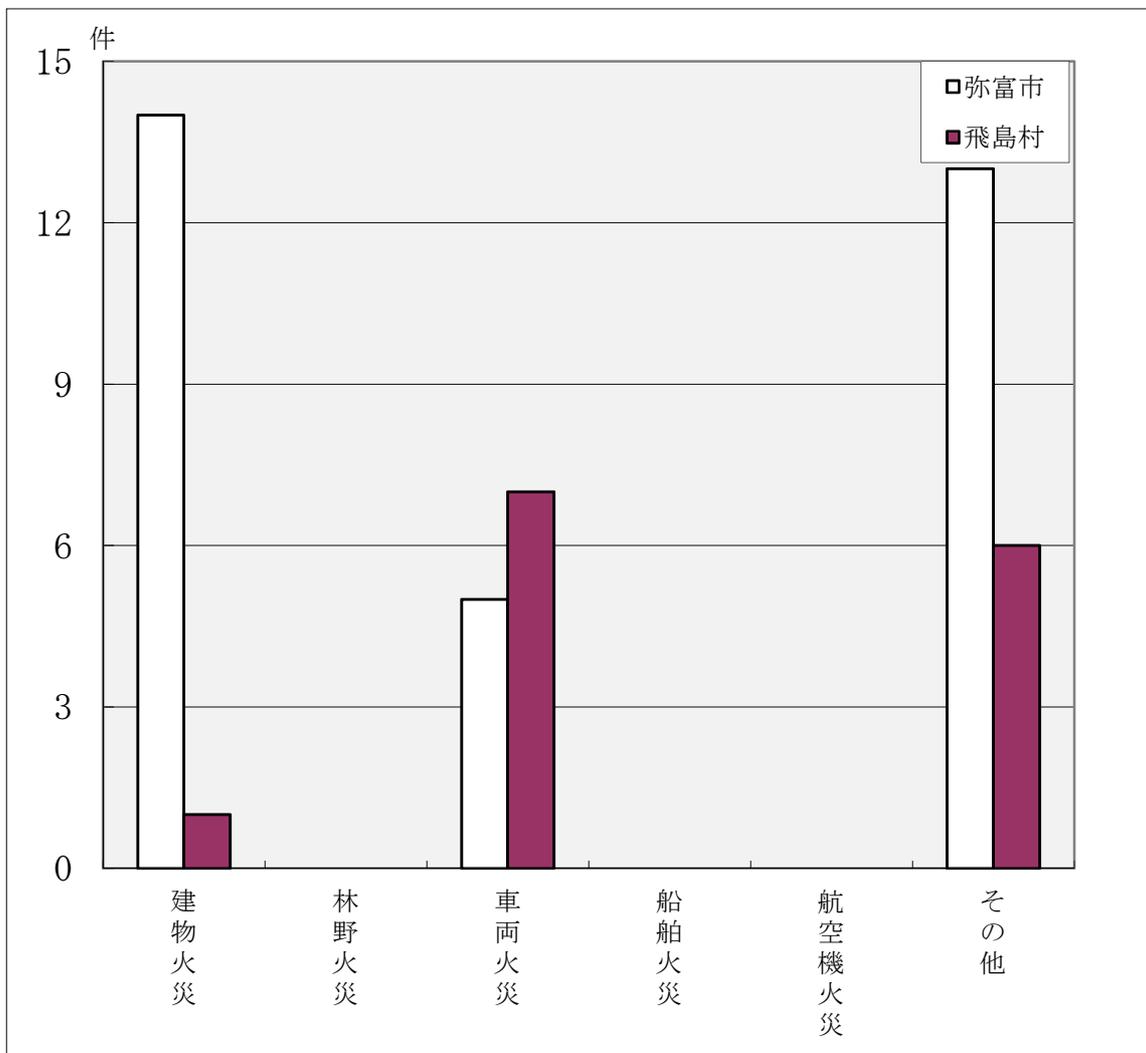
届 出 種 類	受 理 件 数
防 火 管 理 者 選 任 解 任 届	1 1 8
防 火 対 象 物 工 事 計 画 届	7 9
建 築 物 同 意 通 知 書	1 5 5
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 書	1 5 8
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) 設 置 届 出 書	1 6 1
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) 点 検 結 果 報 告 書	7 4 3
消 防 計 画 届	1 6 2
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	5 3
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 の 設 置 届	2 3
燃 料 電 池 発 電 ・ 発 電 ・ 変 電 ・ 蓄 電 池 設 備 設 置 届	5 1
催 物 開 催 届	5
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 の 貯 蔵 又 は 取 扱 い の 開 始 (廃 止) 届	2 6 4
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 届	2 0 0
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 い 届	1, 1 9 4
消 防 訓 練 実 施 届	2 1 8
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 又 は 火 災 炎 を 発 する お そ れ の あ る 行 為 の 届	1 8
水 道 断 水 届	1 4
道 路 工 事 届	1 0 1
露 店 等 開 設 届	6
そ の 他	1 0 9

火 災 統 計

1. 火災件数

令和2年中

区分	火災種別						計
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他	
弥富市	14		5			13	32
飛島村	1		7			6	14
計	15		12			19	46
本署管轄	5		6			6	17
北分署管轄	6					7	13
南出張所管轄	4		6			6	16



2. 市村別火災状況

令和2年中

区 分		市 村 別		
		弥 富 市	飛 島 村	合 計
火 災 種 別	建 物 火 災	14	1	15
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	5	7	12
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災 (枯 草 火 災)	13 (2)	6 (3)	19 (5)
計		32	14	46
損 害 額 (千 円)		64,880	10,902	75,782
災 状 況	り 災 棟 数	19	2	21
	り 災 世 帯 数	4		4
	建 物 焼 損 面 積 (m ²)	1,421	197	1,618
	建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)	92		92
	車 両 焼 損 台 数	10	9	19
	死 者	1		1
	負 傷 者	1		1
覚 知 状 況	1 1 9 番	23	13	36
	一 般 加 入 電 話	1	1	2
	駆 け 付 け			
	事 後 聞 知	8		8
	そ の 他			

3. 月別出火原因状況

令和2年中

月別 原因別		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
放火・放火の疑い					9							1	10	
たばこ				1		1				1	1		4	
排気管				1			1						2	
溶接機・切断機														
こんろ					2								2	
たき火														
電気機器						1							1	
その他	摩擦									1			1	
	火の粉		1				1		1	1			4	
	交通機関内配線													
	その他	1	3	1	1	1			3	1		1	12	
不明			2	1		2	1			2		2	10	
計		1	6	4	12	5	3		4	6	1	2	46	



4. 過去5年間の出火原因ワースト5の推移

年 順位	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
第1位	放火・疑放火	火の粉	排気管	摩 擦	放火・疑放火
第2位	溶接溶断	たばこ	溶接溶断	こ ん ろ	たばこ 火の粉
第3位	排気管	電 気 装 置	放火・疑放火 火の粉		
第4位	ストーブ 火入れ		排気管	たき火 たばこ	排 気 管 火 の 粉
第5位	電気機器	溶接溶断	電話等の配線	交通機関内配線	

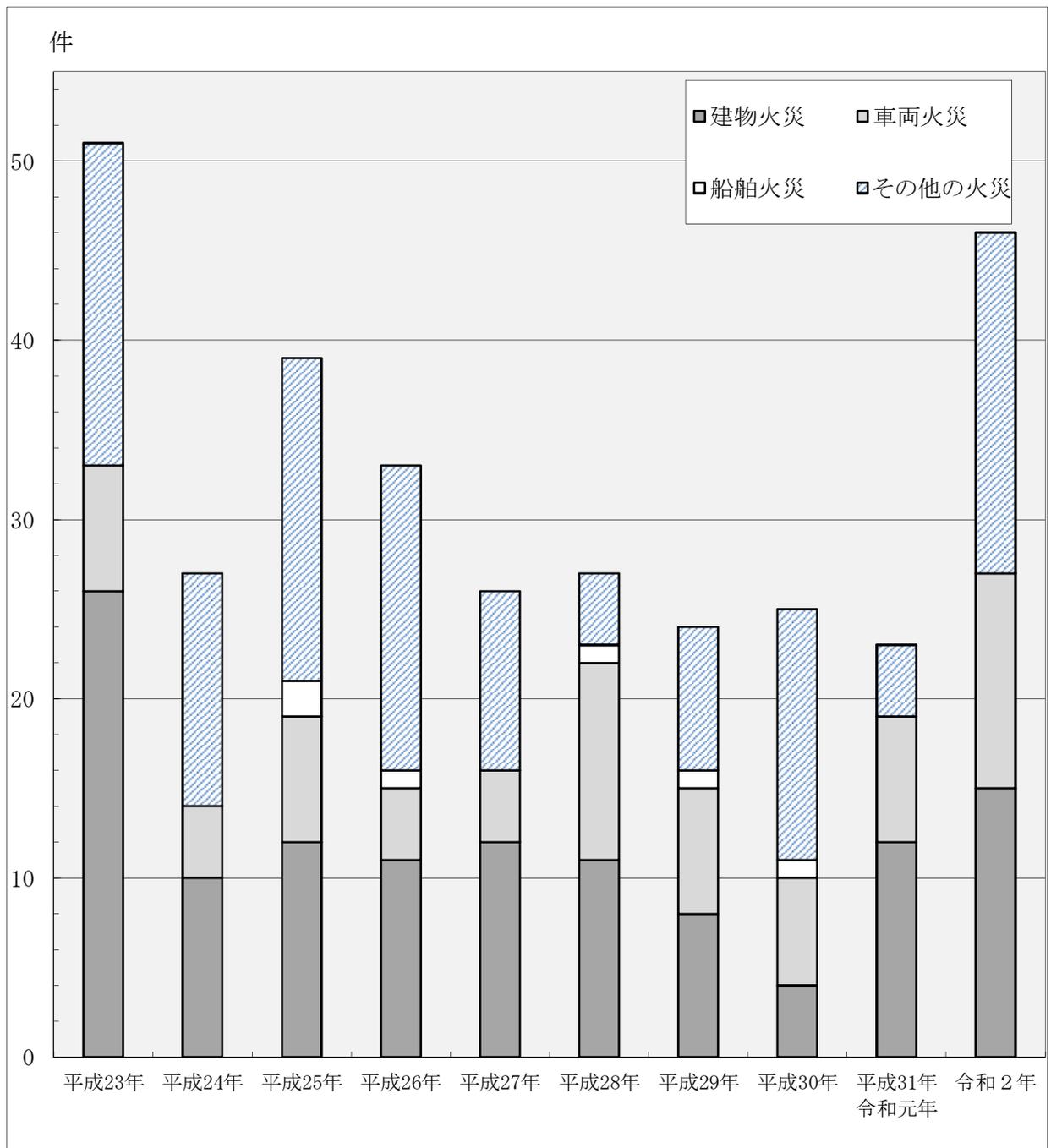
5. 警戒出動状況

令和2年中

種 別	月												合 計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
漏 油		3	5	2	2	4	1	1	2	2	1	4	27
たき火指導	6	2		2	5			6	8	4	14	6	53
異 臭			1				1						2
現場無（いたずら）													
自動火災報知器発報											1	1	2
救 急 支 援	38	30	31	30	32	25	35	33	37	37	30	35	393
先 行 救 急	4	5	1	2	2	2	3	5	5	5	2	1	37
そ の 他	1		1	1	1	2		1			2	2	11
計	49	40	39	37	42	33	40	46	52	48	50	49	525

6. 過去10年間の火災の推移（火災種別）

年別 種別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
建物火災	26	10	12	11	12	11	8	4	12	15
車両火災	7	4	7	4	4	11	7	6	7	12
船舶火災			2	1		1	1	1		
その他の火災	18	13	18	17	10	4	8	14	4	19
計	51	27	39	33	26	27	24	25	23	46



救急・救助統計

1. 救急出動件数

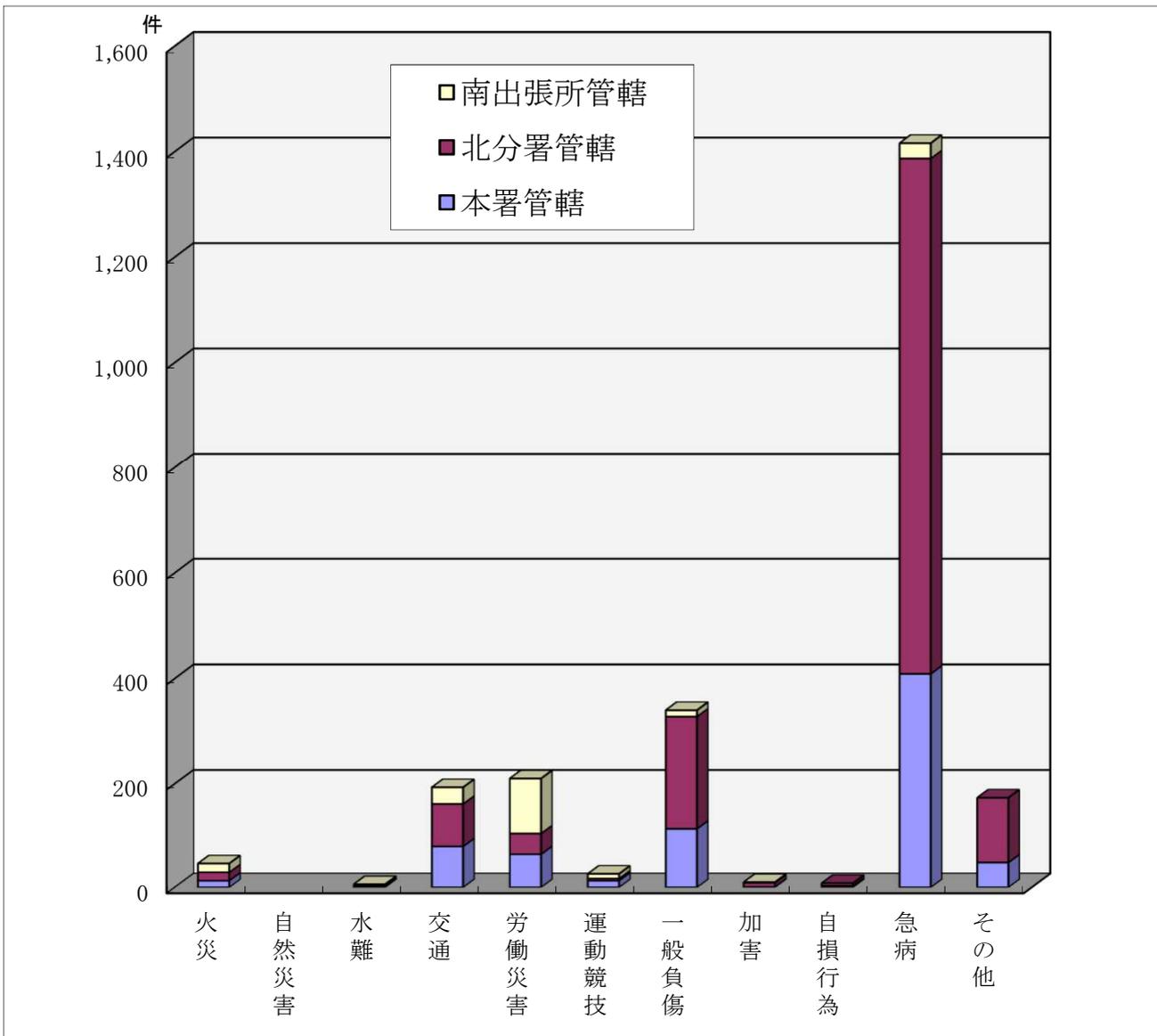
令和2年中

区分 \ 種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
本署管轄	13		1	79	64	13	113	1	3	409	48	744
北分署管轄	16		2	82	40	4	215	8	5	978	125	1,475
南出張所管轄	17		3	32	106	9	12	1		29		209
管外	1			6		1	2			12	50	72
計	47	0	6	199	210	27	342	10	8	1,428	223	2,500

弥富市	36		5	141	125	17	300	8	7	1,272	163	2,074
飛島村	10		1	52	85	9	40	2	1	144	10	354
管外	1			6		1	2			12	50	72

上記の内

高速道路				8	2					3		13
ドクターカー			1	2	22		2		1	52	1	81



2. 月別及び市村別救急出動件数

令和2年中

種別	月別												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火災		6	2	5	2	7	4	6	4	3	5	3	47	
自然災害													0	
水難				1	1	1		1		1		1	6	
交通	17	11	13	14	14	15	15	23	17	20	16	24	199	
労働災害	17	18	18	12	10	15	19	26	26	16	17	16	210	
運動競技	2	1	1	1		1	2	6	3	4	4	2	27	
一般負傷	30	34	27	24	25	37	22	30	39	32	18	24	342	
加害		1			1	1		1	2	1	2	1	10	
自損行為		1		1				1	1	3		1	8	
急病	116	122	126	115	109	99	124	155	113	128	106	115	1,428	
その他	転院搬送	9	19	15	18	12	14	15	20	15	8	20	21	186
	医師搬送													0
	資機材搬送	1	3	2	4	1		4	3	1		2	3	24
	その他	1	2	2	1	2	1	1		1	1		1	13
計	193	218	206	196	177	191	207	272	224	214	191	211	2,500	
弥富市	165	174	179	166	148	154	179	226	184	179	148	172	2,074	
飛島村	25	35	23	21	27	36	18	38	36	33	33	29	354	
管外	3	9	4	9	2	1	10	8	4	2	10	10	72	

上記の内

高速道路	3	1	1					2	2	1	1	2	13
------	---	---	---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	----

3. 月別及び市村別搬送人員状況

令和2年中

種 別 \ 月 別		月 別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火 災							1						1	2
自 然 災 害														
水 難						1								1
交 通		17	10	15	12	14	15	16	25	18	19	15	26	202
労 働 災 害		17	14	18	12	10	15	19	26	25	15	17	15	203
運 動 競 技		2	1	1	1		1	2	6	3	4	4	2	27
一 般 負 傷		29	34	27	24	25	37	21	30	38	33	18	20	336
加 害			1			1			1	2	1	1	1	8
自 損 行 為			1		1			1		2				5
急 病		104	114	119	113	105	96	115	147	106	125	99	108	1,351
そ の 他	転院搬送	9	19	14	18	12	14	15	20	15	8	20	22	186
	医師搬送													
	資機材搬送													
	そ の 他										1			1
計		178	194	194	181	168	179	189	255	209	206	174	195	2,322
弥 富 市		151	158	169	156	140	146	166	210	171	172	136	160	1,935
飛 島 村		25	32	22	20	27	32	18	38	34	32	30	25	335
管 外		2	4	3	5	1	1	5	7	4	2	8	10	52

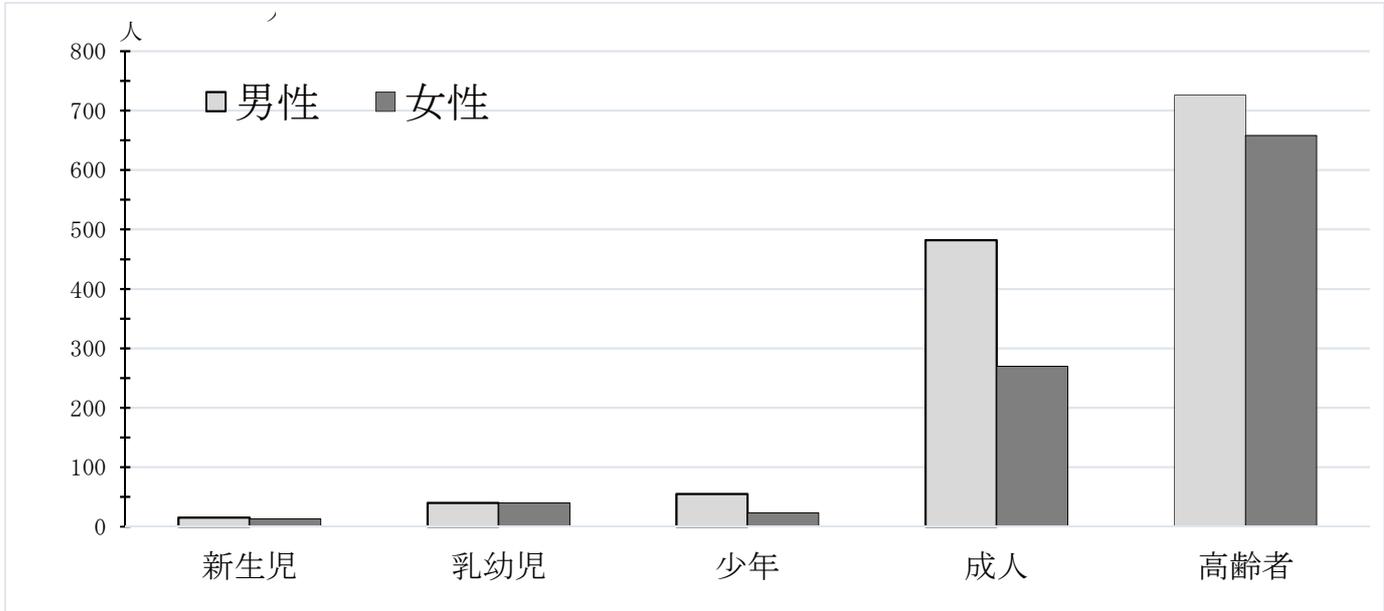
上 記 の 内

高 速 道 路	3	1	1						2	2	1	1	2	13
---------	---	---	---	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	----

4. 年齢区分・性別救急搬送状況

令和2年中

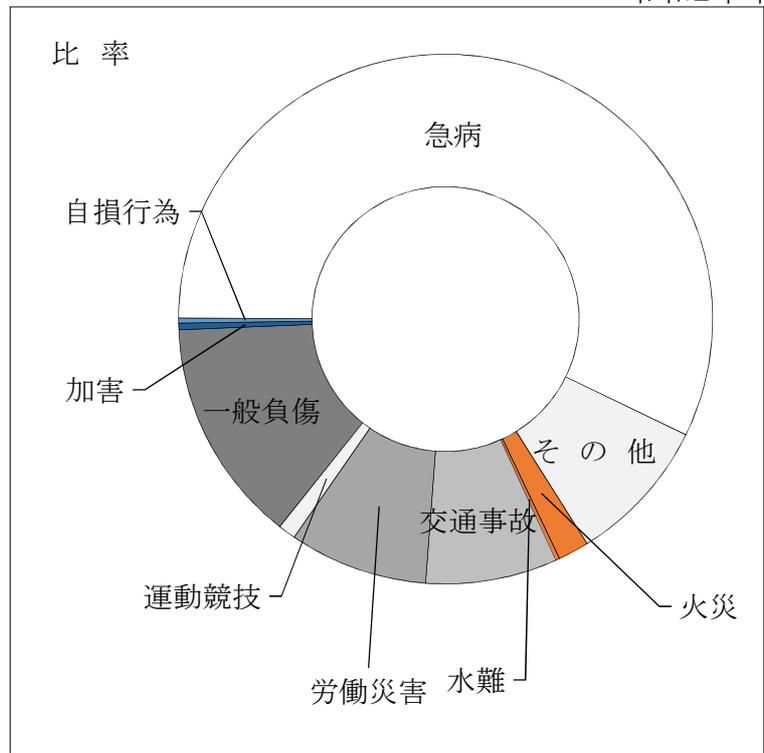
性別	年齢区分					計
	新生児 (28日以内)	乳幼児 (7才未満)	少年 (18才未満)	成人 (65才未満)	高齢者 (65才以上)	
男性	15	40	55	482	726	1,318
女性	13	40	23	270	658	1,004
計	28	80	78	752	1,384	2,322



5. 事故種別救急出動状況

令和2年中

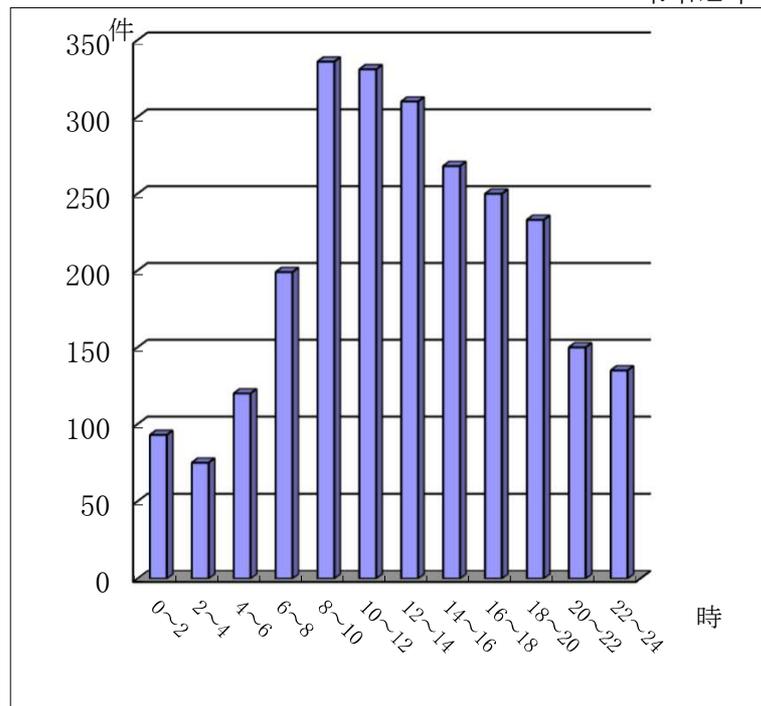
種別	件数	比率%
火災	47	1.9%
自然災害	0	0.0%
水難	6	0.2%
交通事故	199	8.0%
労働災害	210	8.4%
運動競技	27	1.1%
一般負傷	342	13.7%
加害	10	0.4%
自損行為	8	0.3%
急病	1,428	57.1%
その他	223	8.9%
計	2,500	100.0%



6. 時間別救急出動状況

令和2年中

時間別	件数	比率%
0～2	93	3.7%
2～4	75	3.0%
4～6	120	4.8%
6～8	199	8.0%
8～10	336	13.5%
10～12	331	13.2%
12～14	310	12.4%
14～16	268	10.7%
16～18	250	10.0%
18～20	233	9.3%
20～22	150	6.0%
22～24	135	5.4%
計	2,500	100.0%

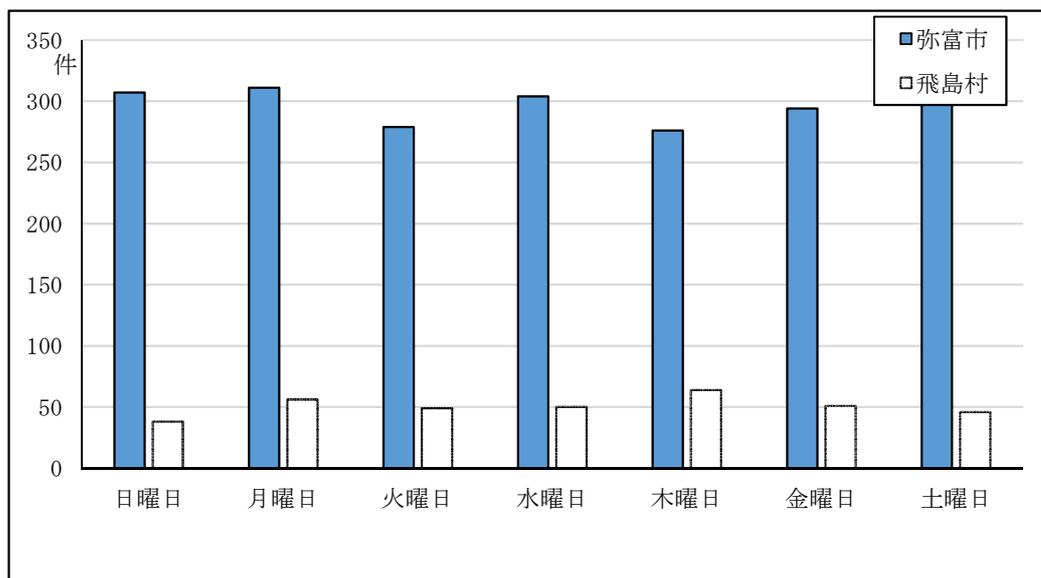


7. 曜日別救急出動状況

令和2年中

市村	曜日								合計
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
弥富市	307	311	279	304	276	294	303	2,074	
飛島村	38	56	49	50	64	51	46	354	
計	345	367	328	354	340	345	349	2,428	

管外	8	15	7	19	11	7	5	72
----	---	----	---	----	----	---	---	----



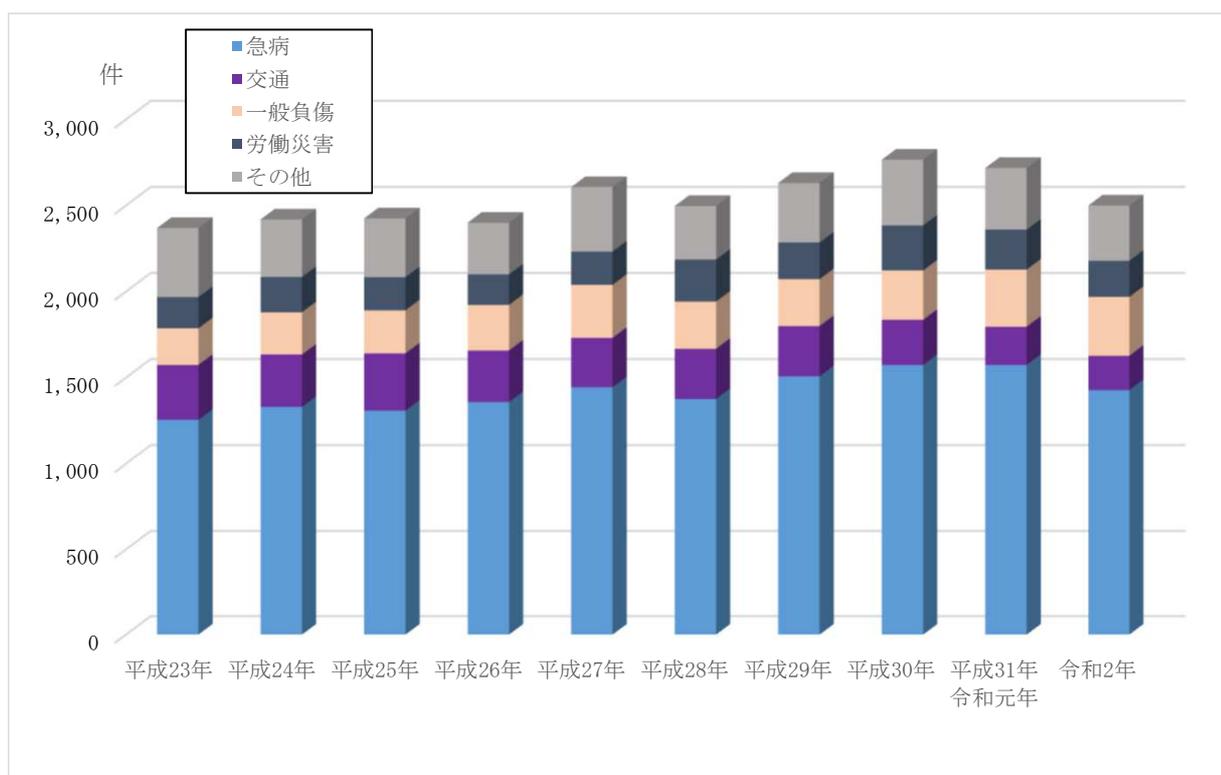
8. 救急隊員が行った応急処置等の状況

令和2年中

事故種別 応急処置等	急病	交通事故	労働災害	一般負傷	その他	計
対象人員	1,348	200	210	334	221	2,313
止血処置	1	1	6	10	2	20
固定処置	3	102	25	29	9	168
人工呼吸						
心肺蘇生	30	1	5	2	3	41
酸素吸入	299	24	32	20	105	480
気道確保	57	1	6	5	6	75
保温	16	2	6	2		26
被覆	5	19	34	59	7	124
在宅療法	116		5	11	2	134
除細動	1		2		1	4
輸液	4	2	4	1		11
血圧測定	1,306	198	201	322	194	2,221
聴診器聴取	73	11	12	7	5	108
酸素飽和度測定	1,314	198	201	331	222	2,266
心電図測定	1,298	170	194	280	190	2,132
気管挿管						
薬剤投与	3			1	1	5
血糖測定	9		2			11
ブドウ糖投与	2					2
心肺停止前静脈路確保	1	2	2			5
その他	98		14	3	17	132
計	4,636	731	751	1,083	764	7,965

9. 過去10年間の救急出動状況

種別	年別									
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
急病	1,255	1,330	1,308	1,358	1,444	1,376	1,508	1,573	1,574	1,428
交通	319	304	333	300	287	292	292	263	222	199
一般負傷	213	246	250	265	308	274	272	287	332	342
労働災害	181	205	193	177	193	244	213	261	232	210
その他	401	334	341	300	375	311	346	382	358	321
計	2,369	2,419	2,425	2,400	2,607	2,497	2,631	2,766	2,718	2,500



10. 過去10年間の救助活動状況

活動状況	年別									
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
活動件数	14	20	21	22	24	22	13	19	16	18
出動人員	496	495	767	532	681	503	467	516	487	507
救出人員	11	22	23	27	25	21	13	22	20	18

1 1. 救助活動状況

令和2年中

種別等	市 村 別		飛 島 村		管 外		計	
	出 動	活 動	出 動	活 動	出 動	活 動	出 動	活 動
火 災	1	1	1	1			2	2
交 通 事 故	9	4	1				10	4
水 難 事 故	5	4	1	1			6	5
自 然 災 害								
機 械 の 事 故	1	1					1	1
建物等による事故								
ガス欠及び酸欠事故			1				1	
破 裂 事 故								
そ の 他	14	4	3	2			17	6
計	30	14	7	4			37	18
救 助 人 員	15		3				18	
車 両 台 数	144	68	32	14			176	82
消 防 隊 員 数	414	192	93	44			507	236

1 2. 緊急消防援助隊出動状況

災 害 名 出 動 場 所 出 動 期 間	出動車両	出動回数	出動延人員	活 動 内 容
福井県豪雨災害 福井県福井市西木田地区 平成16年7月18日、19日	資機材1号車 (舟艇積載)	1回	5名	孤立している住民の救出活動
東日本大震災 宮城県亶理郡亶理町 平成23年3月12日から 平成23年4月17日まで	タンク3号車 広報車	8回	37名	要救助者の検索活動 亶理地区行政事務組合 消防本部にて火災対応
御嶽山噴火災害 長野県木曾郡大滝村 平成26年10月4日から8日まで 平成26年10月14日、15日	救助工作車	2回	10名	要救助者の検索活動
平成30年7月豪雨 岡山県倉敷市真備町 平成30年7月6日から12日まで	津波・大規模風 水害対策車 広報車	2回	10名	孤立している住民の救出活動

13. 救命講習実施状況

年 実施状況	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
回数	56	40	45	49	31	37	33	18
修了者数	798	627	871	821	539	664	595	192

*救命講習実施状況内には、「普及員講習」を含まず。

講習別の実施状況

令和2年中

講習種別	実施回数	修了者数
普通救命講習（Ⅰ）	14	165
普通救命講習（Ⅱ）	1	3
普通救命講習（Ⅲ）		
上級救命講習	3	24
普及員講習	1	5

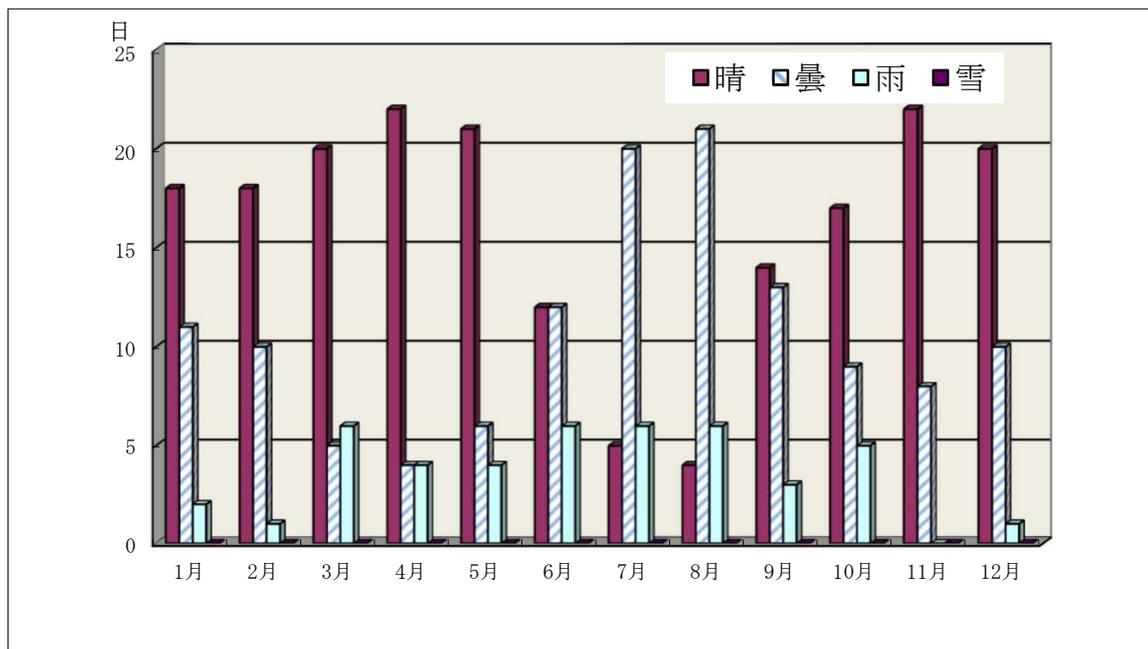
気象統計

1. 月別天候状況

令和2年中

月 天候	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
晴	18	18	20	22	21	12	5	4	14	17	22	20
曇	11	10	5	4	6	12	20	21	13	9	8	10
雨	2	1	6	4	4	6	6	6	3	5	0	1
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(消防署観測)

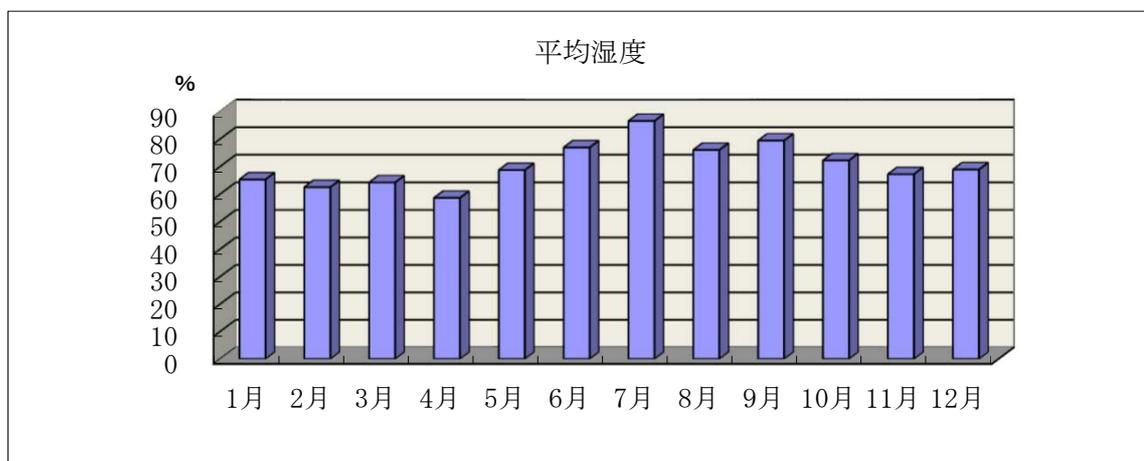


2. 月別湿度状況

令和2年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	65.3	62.5	64.2	58.6	68.7	76.9	86.5	76.0	79.4	72.2	67.2	68.9

(消防署観測)

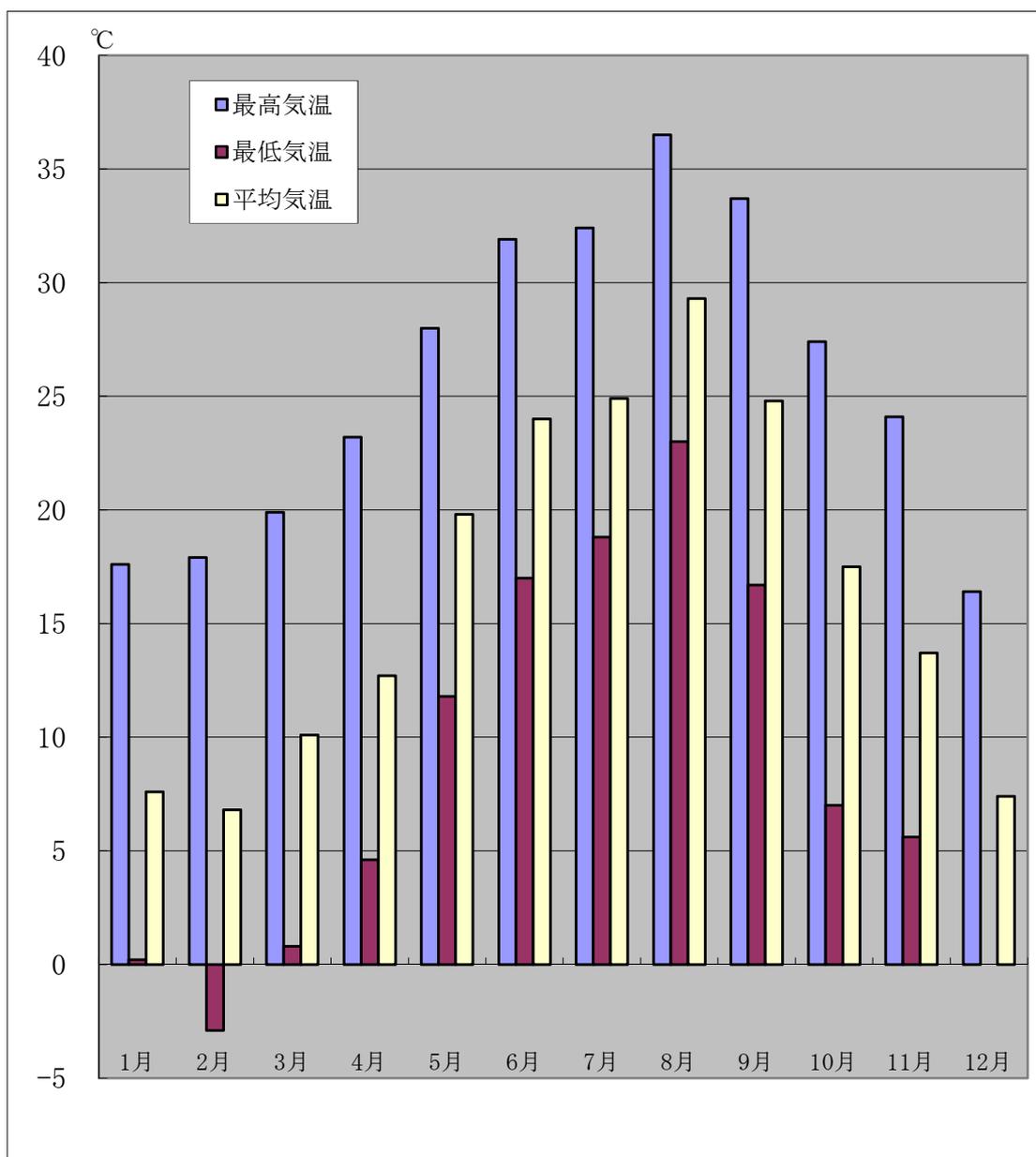


3. 月別気温状況

令和2年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	17.6	17.9	19.9	23.2	28.0	31.9	32.4	36.5	33.7	27.4	24.1	16.4
最低気温	0.2	-2.9	0.8	4.6	11.8	17.0	18.8	23.0	16.7	7.0	5.6	0.0
平均気温	7.6	6.8	10.1	12.7	19.8	24.0	24.9	29.3	24.8	17.5	13.7	7.4
気温差	17.4	20.8	19.1	18.6	16.2	14.9	13.6	13.5	17.0	20.4	18.5	16.4

(消防署観測)

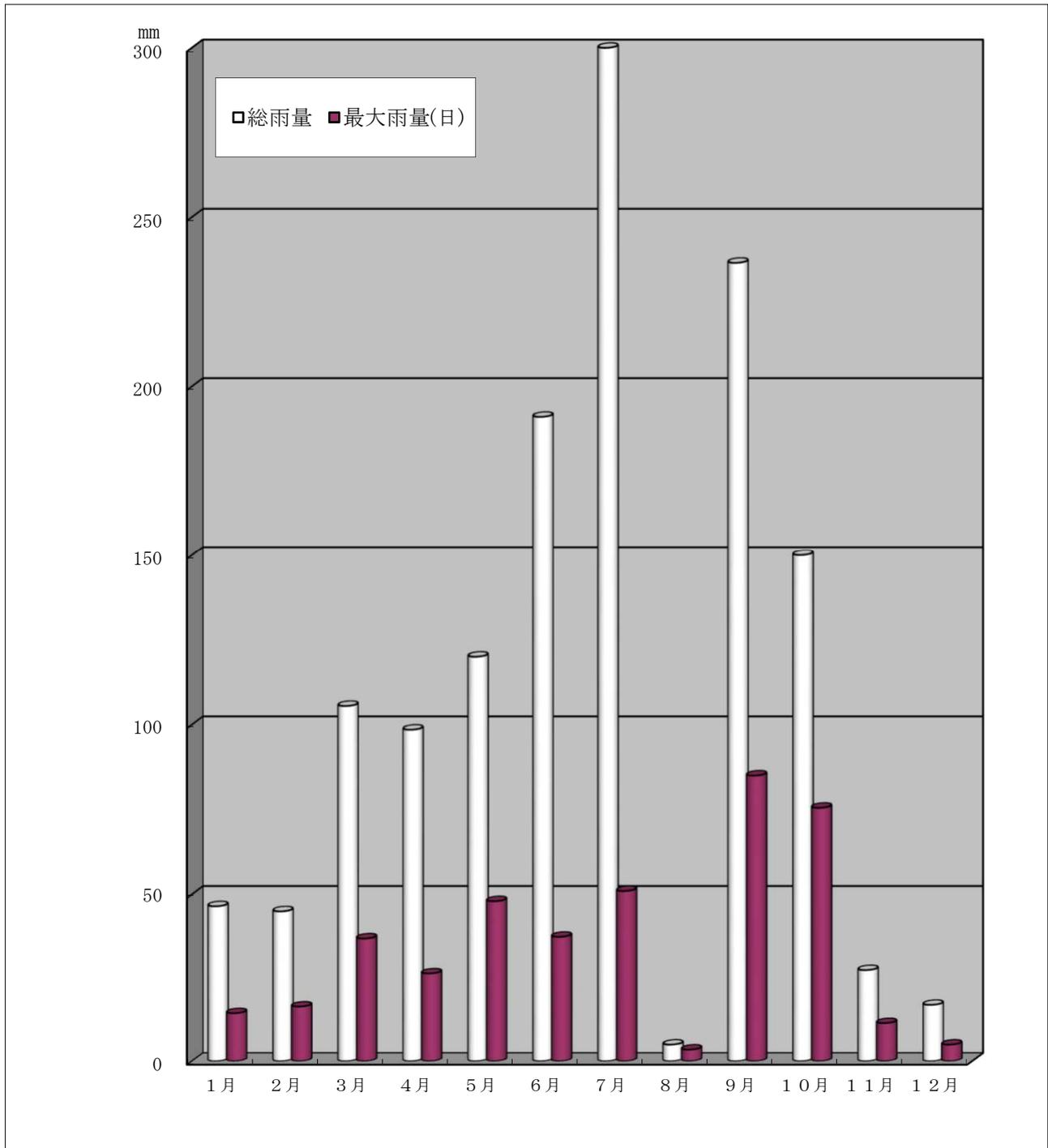


4. 月別雨量状況

令和2年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総雨量	46.5	45.0	105.5	98.5	120.0	191.0	342.0	5.0	236.5	150.0	27.5	17.0
最大雨量(日)	14.5	16.5	37.0	26.5	48.0	37.5	51.0	3.5	85.0	75.5	11.5	5.0

年間総雨量 1,384.5ミリ 消防署観測



5. 月別最大風速状況

(消防署観測) 令和2年中

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大風速	23.4	19.2	22.3	21.1	20.8	23.3	21.0	17.6	23.7	15.4	19.5	24.7
平均風速	3.0	3.4	3.2	4.0	3.1	2.6	2.6	2.9	3.1	2.7	2.9	3.0

年間平均風速 3.0m/s

6. 地震発生状況

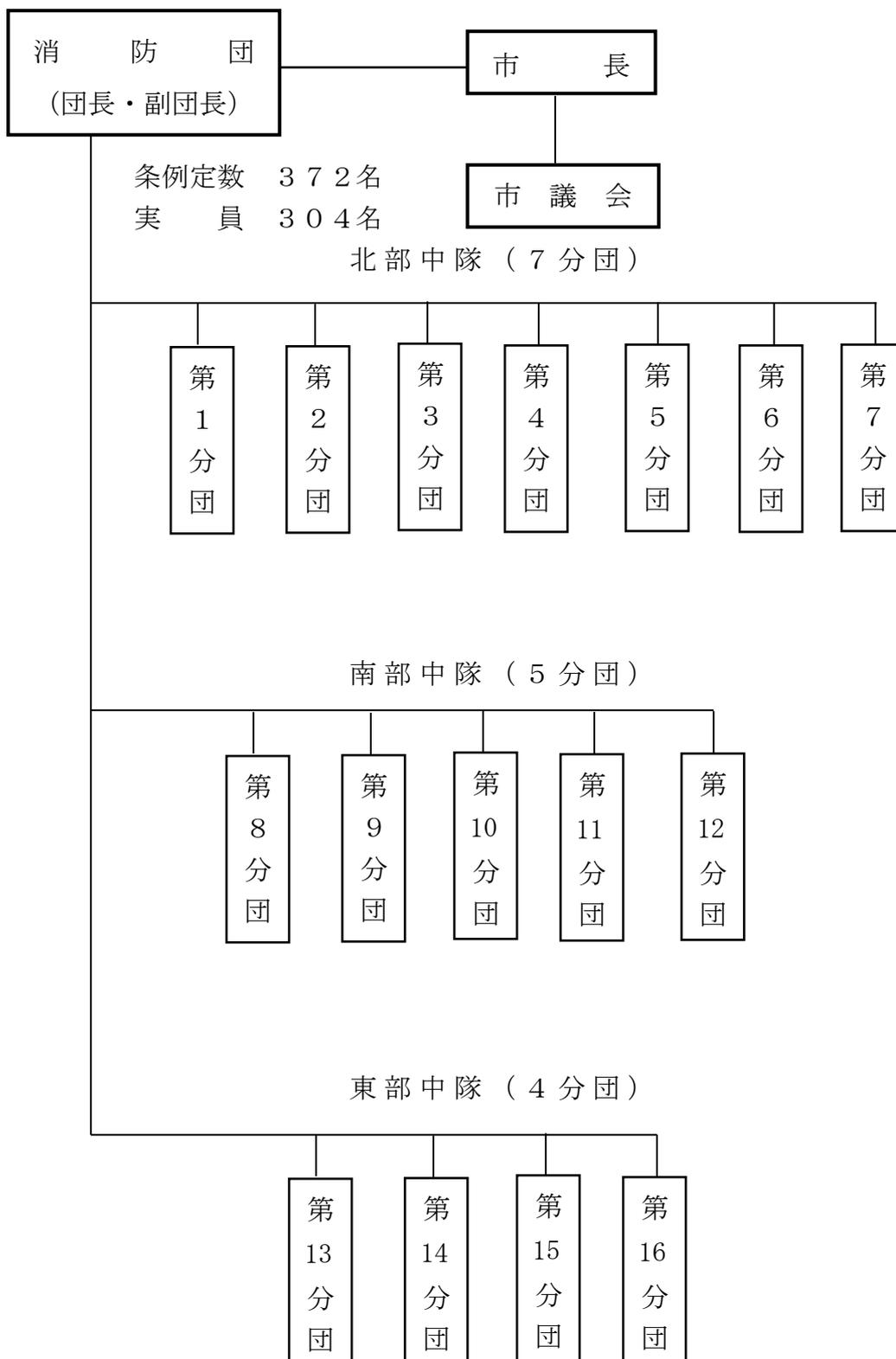
(消防署観測) 令和2年中

地震発生日	発生時間	地動加速度 (ガル)	最大震度階
令和2年6月17日	15時03分	4	2
令和2年9月4日	9時10分	4	2
令和2年10月19日	3時28分	12	3

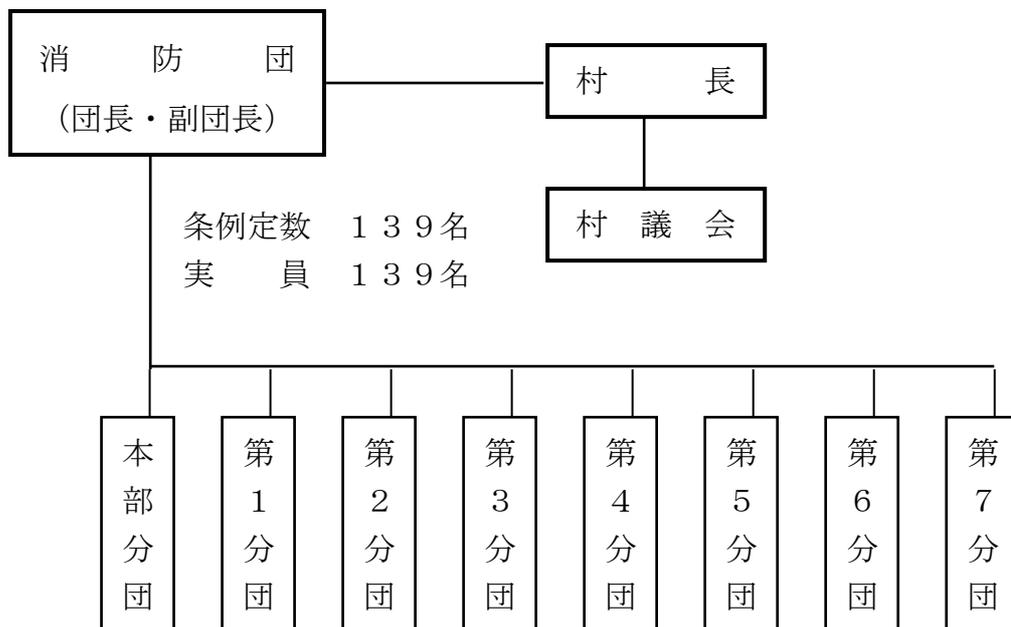
消防団・消防水利

1. 消防団組織

弥富市消防団



飛島村消防団



2. 消防団現勢

団名	区分	定員	実員	人員内訳							機 械		
	階級等 分団名			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	水槽付ポンプ車	普通ポンプ車	小型動力ポンプ付積載車
弥富市消防団	合計	372	304	1	3	16	16	16	32	220			16
	団本部	4	4	1	3								
	第1分団	23	19			1	1	1	2	14			1
	第2分団	23	14			1	1	1	2	9			1
	第3分団	23	17			1	1	1	2	12			1
	第4分団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第5分団	23	15			1	1	1	2	10			1
	第6分団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第7分団	23	18			1	1	1	2	13			1
	第8分団	23	22			1	1	1	2	17			1
	第9分団	23	22			1	1	1	2	17			1
	第10分団	23	9			1	1	1	2	4			1
	第11分団	23	13			1	1	1	2	8			1
	第12分団	23	21			1	1	1	2	16			1
	第13分団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第14分団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第15分団	23	19			1	1	1	2	14			1
第16分団	23	19			1	1	1	2	14			1	

団 名	区 分	定 員	実 員	人 員 内 訳							機 械		
	階 級 等 分 団 名			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	水 槽 付 ポ ン プ 車	普 通 ポ ン プ 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車
飛 島 村 消 防 団	合 計	139	139	1	2	8	8	16		104			8
	団 本 部	3	3	1	2								
	本 部 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 1 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 2 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 3 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 4 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 5 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 6 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 7 分 団	17	17			1	1	2		13			1

3. 消防水利

区 分		弥 富 市	飛 島 村	計
消 火 栓	公 設	1, 2 1 1	2 1 1	1, 4 2 2
防 火 水 槽	有 蓋 (耐 震 性)	2 5 (6)	3 0 (4)	5 5 (10)
	無 蓋	2 8		2 8
そ の 他		1 1	1 5	2 6
計		1, 2 7 5	2 5 6	1, 5 3 1

※ 消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）に基づいて設置されている消防水利の数を掲載しています。

※ 名古屋港管理組合が設置した消防水利の数は含まず。

消 防 一 般

1. 少年消防クラブ

名 称	ク ラ ブ 員 数	指 導 者 数
十 四 山 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	0名	0名
飛 島 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	0名	0名
弥 富 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	0名	0名
弥 富 北 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	0名	0名
計	0名	0名

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年中の活動なし

昭和49年 8 月 1 日 十四山中学校、飛島中学校、弥富中学校 少年消防クラブ結成

昭和53年12月27日 十四山中学校、弥富中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和54年 4 月 1 日 弥富北中学校 少年消防クラブ結成

昭和54年12月27日 飛島中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和57年12月27日 弥富北中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和58年12月27日 十四山中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

昭和61年11月16日 飛島中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成元年 6 月 2 日 十四山中学校少年消防クラブ 日本防火協会から優良少年消防クラブとして表彰される。

平成元年12月26日 弥富中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成2年12月26日 弥富北中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成13年 3 月 2 7 日 飛島中学校少年消防クラブ 全国少年消防クラブ運営指導協議会から表彰楯を授与

平成18年11月26日 十四山中学校少年消防クラブ 愛知県消防協会長から表彰状及び竿頭綬を授与
 飛島中学校少年消防クラブ
 弥富中学校少年消防クラブ
 弥富北中学校少年消防クラブ

2. 消防組合年間行事

令和2年中

1月	組合出初式 文化財防火デー 正副管理者会議 マラソンベンチプレス大会	7月	正副管理者会議 防火教室（管内保育所） 職員体力測定
2月	組合議会定例会 防火教室（管内保育所） 職員教養	8月	正副管理者会議
3月	春季全国火災予防運動 防火診断（高齢者宅防火診断）	9月	組合議会定例会 職員採用候補者試験 水難救助合同訓練
4月		10月	甲種・乙種防火管理講習 消防ひろば
5月	組合議会臨時会	11月	組合議会臨時会 秋季全国火災予防運動 消防本部・消防団合同視察 職員健康診断 消防ひろば
6月	危険物安全週間 海部南部危険物安全協会危険物災害予防 車両広報パレード	12月	年末特別警戒 海部地方五署合同救急訓練

3. 訓練指導状況

令和2年中

訓練区分		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
消防団	回数		5		1		1			4	25	7		43
	参加人員		128		21		51			51	284	153		688
	職員数		16		7		9			30	219	62		343
B F C	回数													
	参加人員													
	職員数													
教係 育機 関関	回数	1	9				4	2			5	9	9	39
	参加人員	22	845				43	19			386	370	935	2,620
	職員数	1	50				24	7			40	87	53	262
民事 業 間所	回数	6	5	1	3	1	3	4	1	7	5	10	4	50
	参加人員	22	23				19	98	6	135	115	388	109	915
	職員数	21	18	4	14	4	12	24	4	32	25	45	28	231
その の機 他関	回数	5	1				3	3	1	2	7	4	3	29
	参加人員	135	17				27	109	5	10	18	29	115	465
	職員数	25	6				16	13	4	10	25	19	12	130
合計	回数	12	20	1	4	1	11	9	2	13	42	30	16	161
	参加人員	179	1,013	0	21	0	140	226	11	196	803	940	1,159	4,688
	職員数	47	90	4	21	4	61	44	8	72	309	213	93	966

注) B F C = 少年消防クラブ

令和3年度 防火標語



おうち時間
家族で点検
火の始末